

令和5年（2023年）第6回定例会

枚方市教育委員会会議録

令和5年（2023年）6月30日

枚方市教育委員会

令和5年（2023年）第6回 枚方市教育委員会
定例会議案書

日程 1	教育長報告
---------	-------

案 件 名		
日程 2	報告第23号	臨時代理事項の報告について (1) 学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について
日程 3	報告第24号	委任を受けて執行した事項の報告について (1) 令和4年度英語教育実施状況調査の結果について
日程 4	報告第25号	委任を受けて執行した事項の報告について (1) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
日程 5	報告第26号	委任を受けて執行した事項の報告について (1) 生徒指導について

○開催日時 令和5年（2023年）6月30日 午前10時00分から
○開催場所 輝きプラザきらら3階 教育委員会室

臨時代理事項の報告について

標題の件について、次のとおり臨時代理処分をしたので教育長に委任する事務等に関する規則（平成3年枚方市教育委員会規則第2号）第3条第3項の規定により教育委員会に報告し、承認を求める。

令和5年(2023年)6月30日

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋

- 1 -

1. 臨時代理の理由

特に緊急を要するため

2. 臨時代理事項

臨時代理第4号 学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

- 2 -

学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則(平成 3 年教育委員会規則第 2 号)第 3 条第 2 項の規定により臨時代理する。

令和 5 年(2023 年) 5 月 21 日

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋

- 3 -

1. 臨時代理の内容

(1) 委員の解嘱

解嘱委員	高木 良知 委員 田中 香世子 委員
解嘱日	令和 5 年(2023 年) 5 月 21 日
解嘱理由	辞任の申し出があったため

(2) 委員の委嘱

委嘱委員	加藤 祐 (山之上校区コミュニティ協議会会長) 竹林 礼子 (青少年育成指導員・更生保護女性会)
委員の任期	令和 5 年(2023 年) 5 月 22 日から 令和 6 年(2024 年) 3 月 31 日まで
委嘱理由	山之上校区のコミュニティ協議会より推薦があったため
参考資料	次ページのとおり

- 4 -

学校運営協議会委員名簿

※任期：令和5年(2023年)5月22日～令和6年(2024年)3月31日

山之上小学学校運営協議会

氏名	所属、役職等	分野	摘要
1 加藤 祐 (かとう ゆう)	山之上小学区コミュニティ協議会会長	地域住民	1 期目
2 竹林 礼子 (たけはやし れいこ)	青少年育成指導員・更生保護女性会	地域住民	1 期目

報告第24号

委任を受けて執行した事項の報告について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則(平成3年教育委員会規則第2号)第4条第2号の規定により教育委員会に報告する。

令和5年(2023年)6月30日

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋

1. 報告事項
令和4年度英語教育実施状況調査の結果について
2. 内容
別紙1のとおり

報告第25号

委任を受けて執行した事項の報告について

標題の件について、教育長に委任する事務等に関する規則(平成3年教育委員会規則第2号)第4条第2号の規定により教育委員会に報告する。

令和5年(2023年)6月30日

枚方市教育委員会
教育長 尾川 正洋

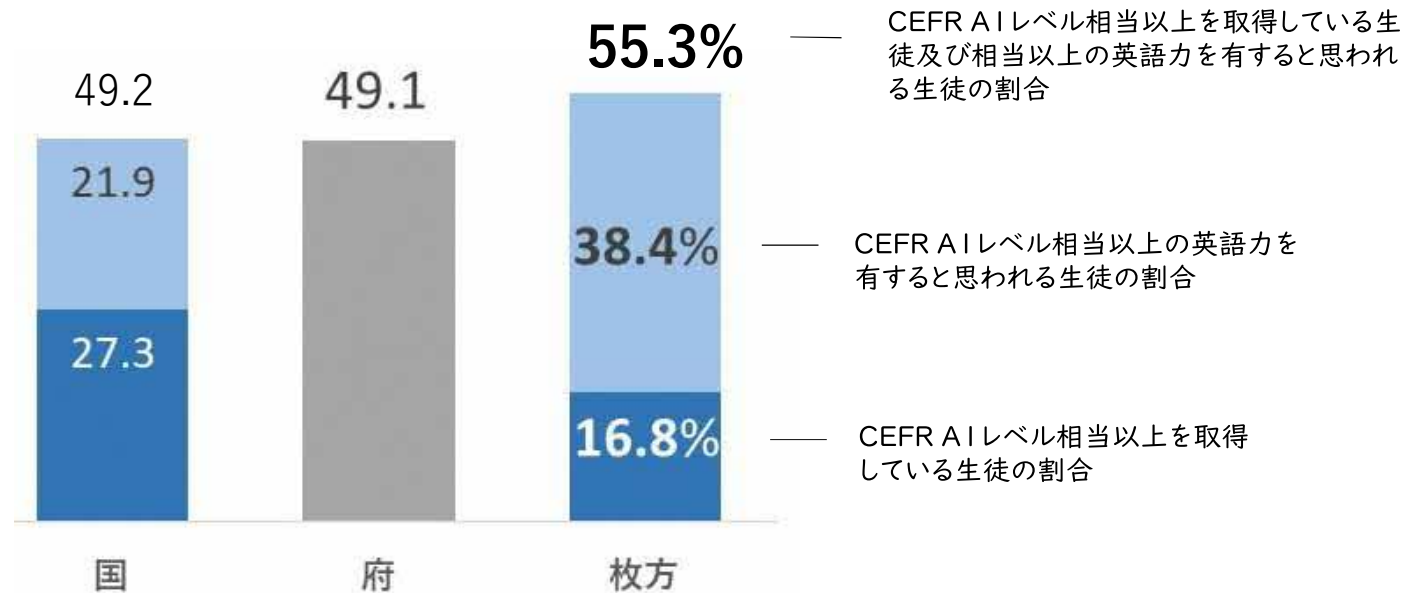
1. 報告事項
令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
2. 内容
別紙2のとおり

令和4年度英語教育実施状況調査 枚方市 結果

令和5年6月
【教育政策会議資料】
枚方市教育委員会事務局
教育指導課

I. CEFR A1レベル相当以上（英検3級レベル）の生徒の割合

中学3年生

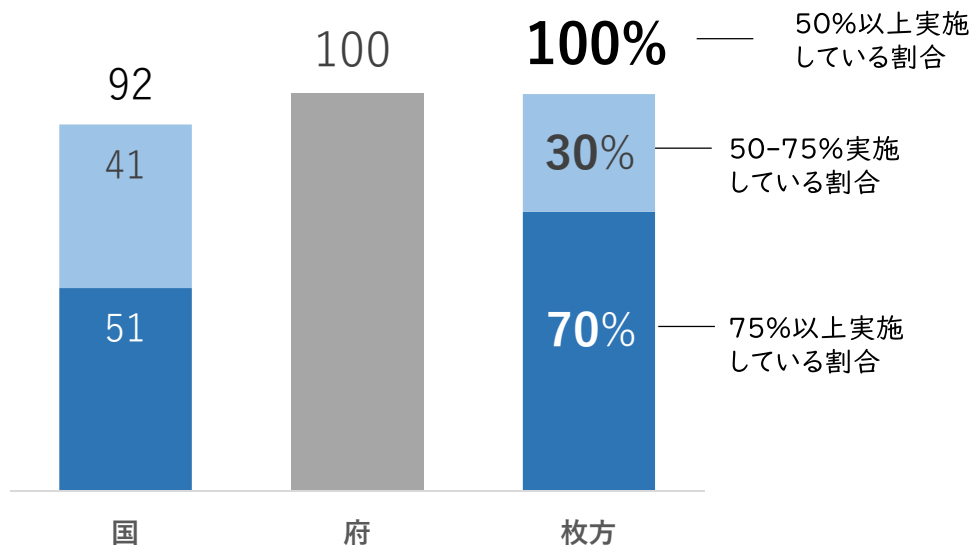


枚方市は、CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒及び相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合は全国・大阪府の値を上回っている。CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒の割合は、全国の値に比べて低い。

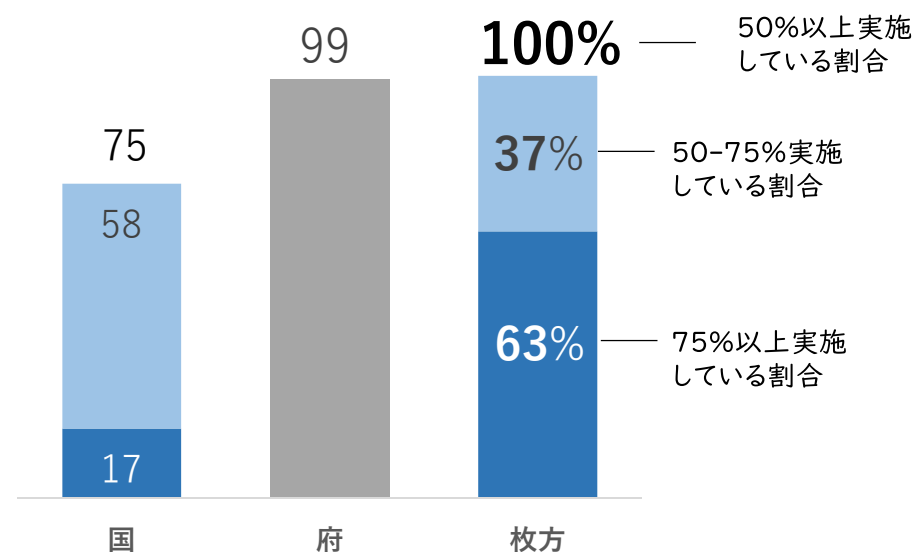
※大阪府は、内訳が公開されていません

2. 授業の中で、生徒が英語で言語活動をしている時間の割合

小学校



中学校



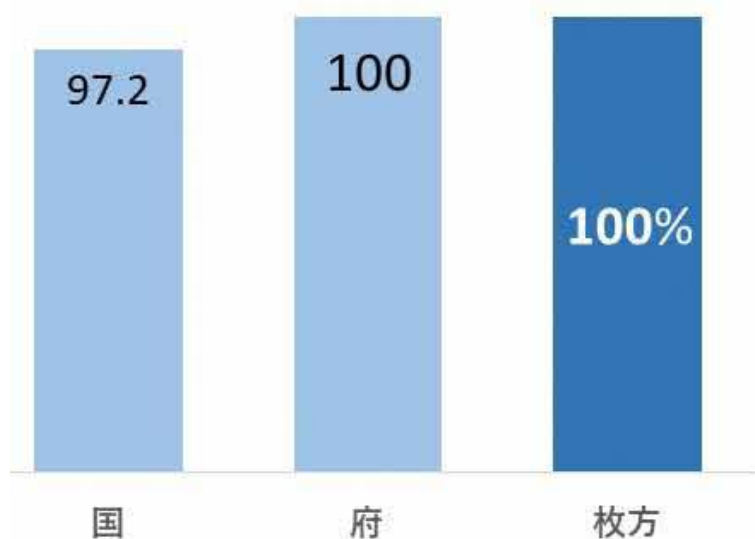
枚方市は、小学校中学校ともに、授業の50%以上の時間で言語活動を行っている割合が100%である。
75%以上の時間で言語活動を行っている割合も、全国の値を大きく上回っている。

※大阪府は、内訳が公開されていません

3. パフォーマンステストの実施状況

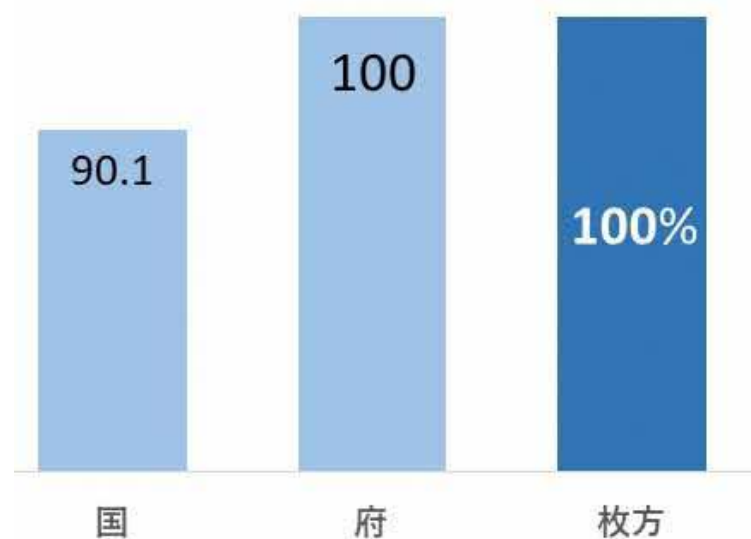
小学校

パフォーマンステストを実施している割合



中学校

スピーキングテストとライティングテストを両方実施している割合



枚方市は、小学校中学校ともに、パフォーマンステストを100%実施している。

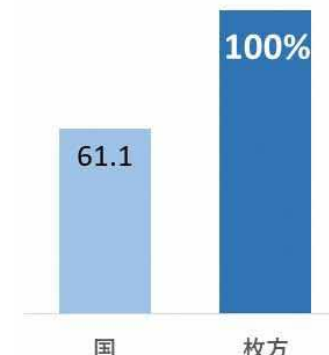
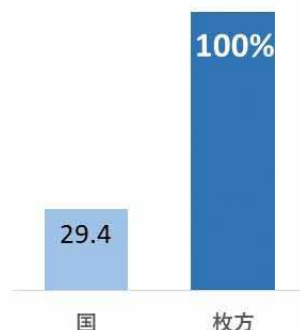
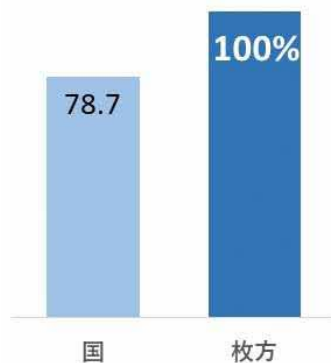
4. 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標（小学校）

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学校の割合

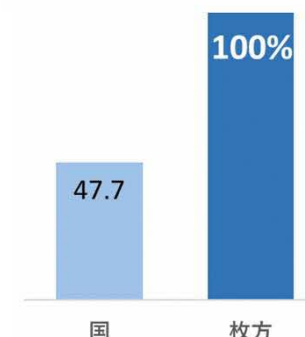
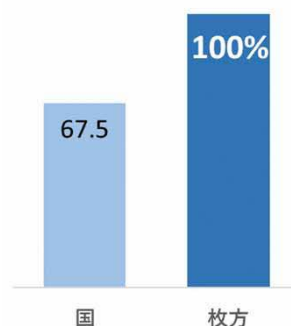
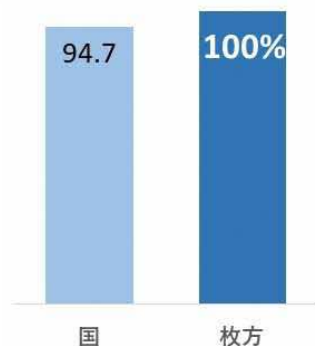
「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している学校の割合

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学校の割合

小学校



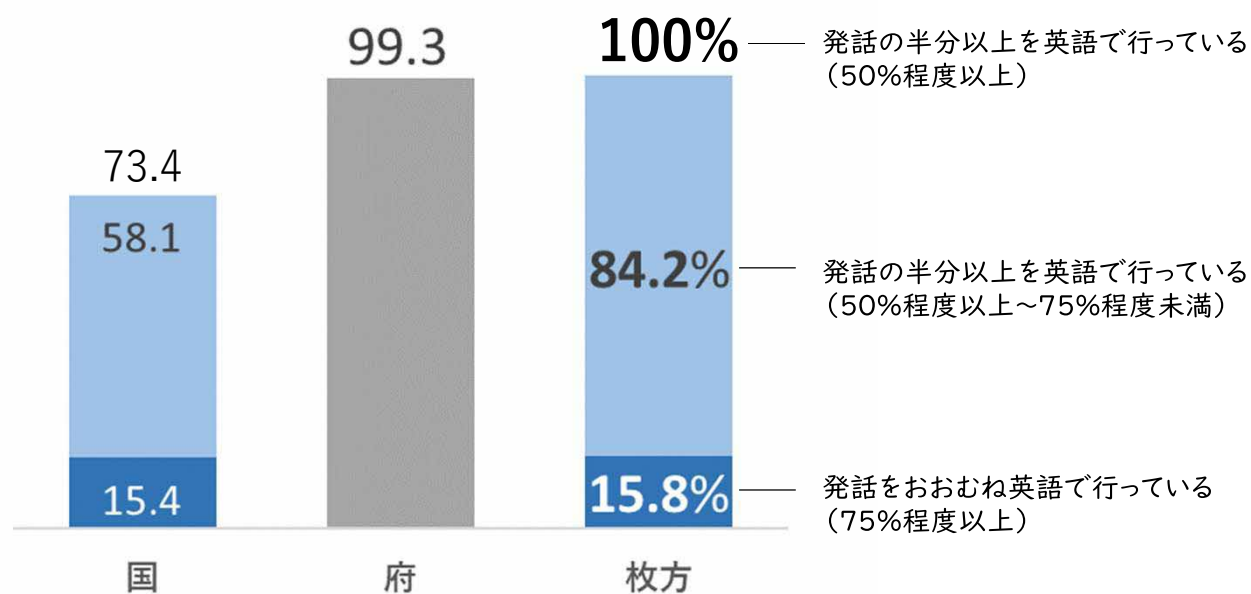
中学校



枚方市は、小学校中学校ともに、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・達成状況の把握・公表について、100%実施している。

5. 授業における、英語担当教師の英語使用状況

中学校

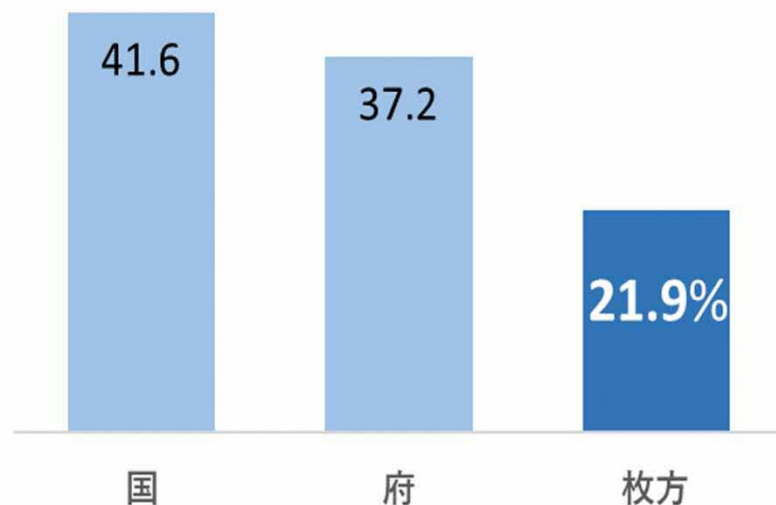


枚方市の英語担当教師は全員、授業で発話の半分以上を英語で行っている。
発話の75%程度以上英語で行っている教師の割合は、全国平均とほぼ同等である。
※大阪府は、内訳が公開されていません

6. 英語担当教師の英語力

中学校

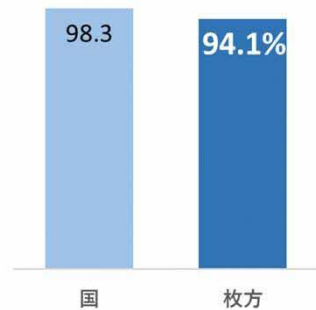
CEFR B2レベル(英検準1級)相当以上を取得している英語担当教師の割合



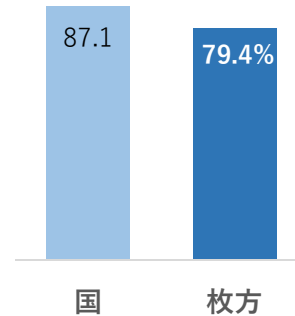
枚方市の中学校英語教師で、CEFR B2レベル(英検準1級)相当以上を取得している割合は、全国平均の半分程度である。

7. 各活動にALT (JTE・NET) を活用した学校の割合 (小学校)

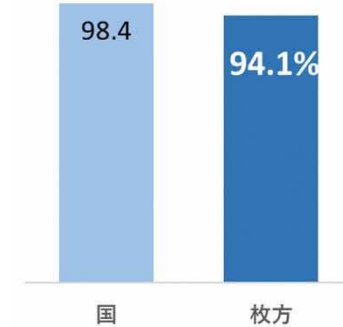
1) 教師とのやり取りを児童に示す
やり取り・発表のモデル提示



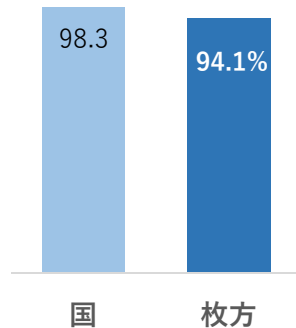
2) パフォーマンステスト等の補助



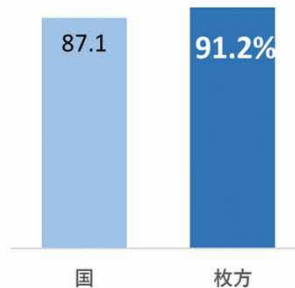
3) 児童のやり取りの相手



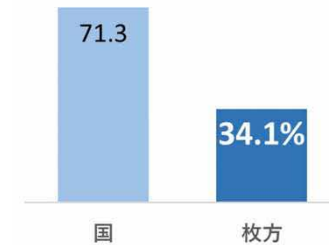
4) 発音のモデル・発音指導



5) 児童の発言や作文等
に対するコメント・フィードバック



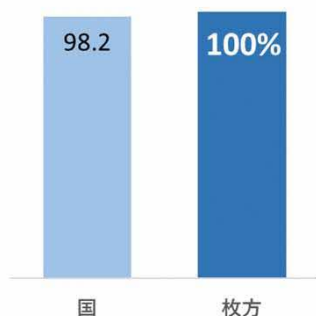
6) 外国語の授業外での
児童生徒との交流



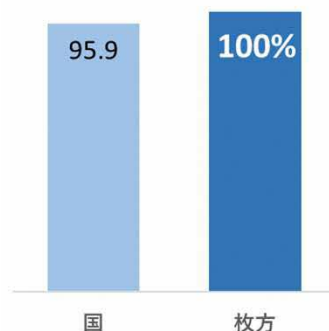
枚方市の小学校における、各活動のJTE・NET-Eを活用した学校の割合は、ほとんどが、全国平均同等であるが、「6) 外国語の授業外での児童生徒との交流」については、大きく下回っている。

7. 各活動にALT (JTE・NET) を活用した学校の割合 (中学校)

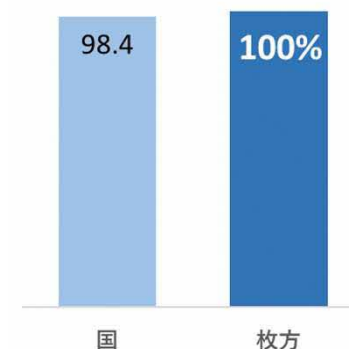
1) 教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示



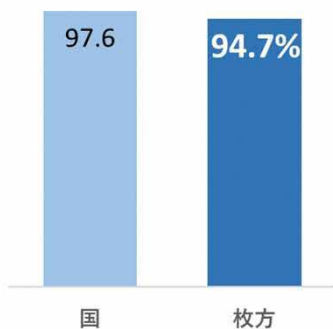
2) パフォーマンステスト等の補助



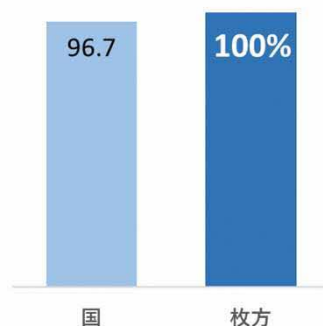
3) 生徒のやり取りの相手



4) 発音のモデル・発音指導



5) 生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック



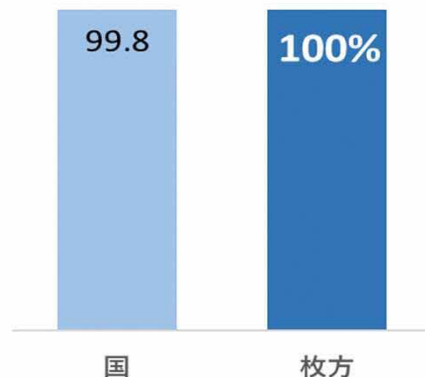
6) 外国語の授業外での児童生徒との交流



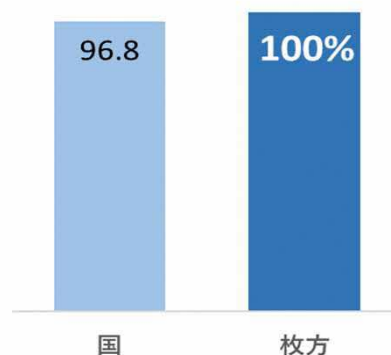
枚方市の中学校において、各活動のNETを活用した学校の割合は、ほとんどの活動において100%であった。 9

8. 外国語の授業でのICT機器の活用状況（小学校【1】）

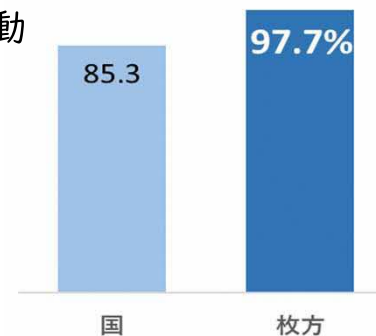
1) 教師がデジタル教材等を活用した授業



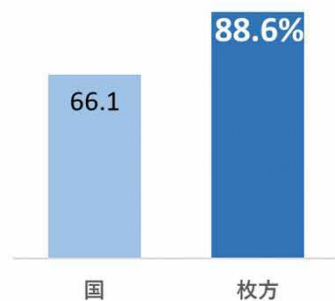
2) 児童が1人1台端末等を活用



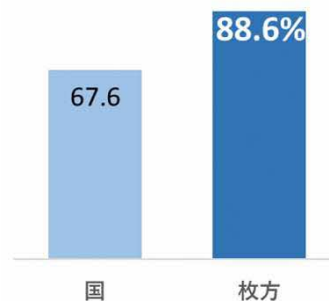
3) 児童がパソコン等を用いて発表や話すことにおけるやり取りをする活動



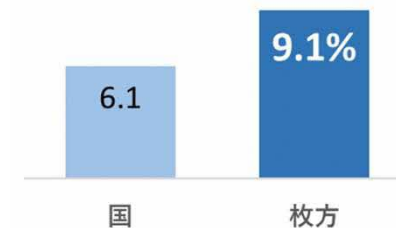
4) 児童による、発話や発音などの録音・録画



5) 児童がキーボード入力等書く活動



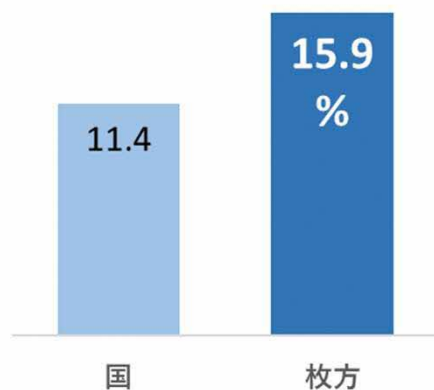
6) 児童が電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動



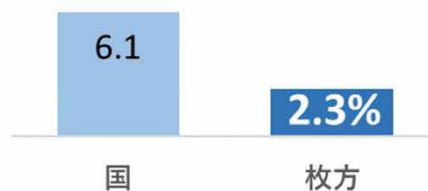
枚方市の小学校の外国語の授業で、ICT機器を活用は浸透している。特に、録音・録画機能の活用や、キーボード入力による書く活動は、全国平均に比べ非常に高い。

8. 外国語の授業でのICT機器の活用状況（小学校【2】）

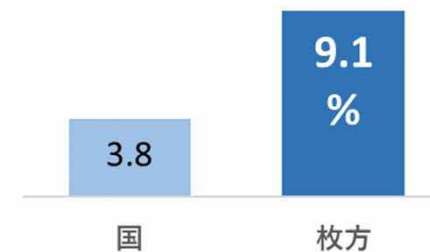
7) 児童が遠隔地の児童等
と英語で話をして交流する活動



8) 遠隔地の教師やALT等と
チーム・ティーチングを行う
授業



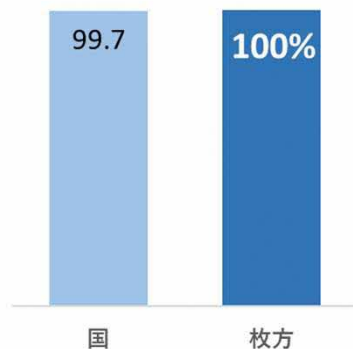
9) 児童が遠隔地の英語に
堪能な人と個別に会話を
行う活動



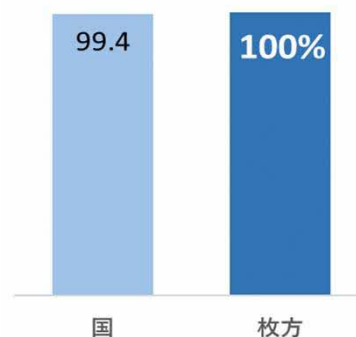
今後、海外や遠隔地との交流や、メールを活用したやりとりの割合の向上が課題となる。

8. 英語の授業でのICT機器の活用状況（中学校【1】）

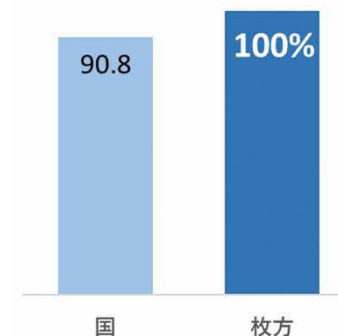
1) 教師がデジタル教材等を活用した授業



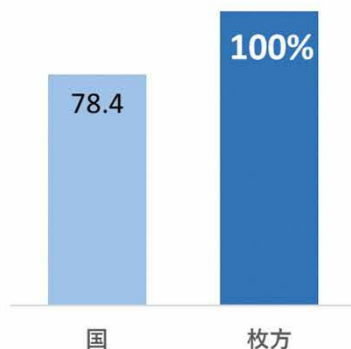
2) 生徒が1人1台端末等を活用



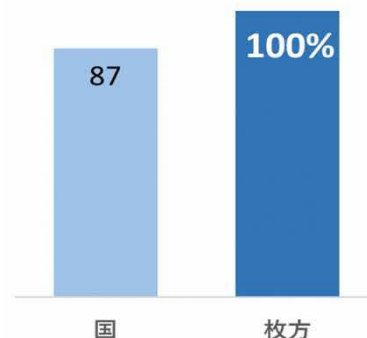
3) 生徒がパソコン等を用いて発表や話すことにおけるやり取りをする活動



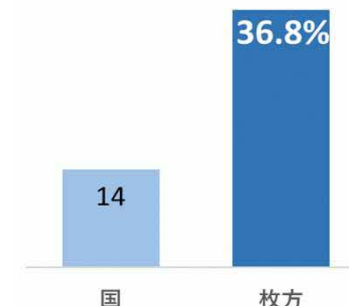
4) 生徒による、発話や発音などの録音・録画



5) 生徒がキーボード入力等で書く活動



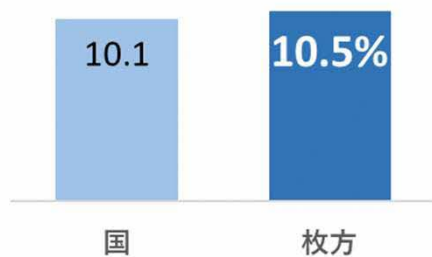
6) 生徒が電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動



枚方市の中学校の英語の授業でのICT機器を活用はすべての項目において全国平均を上回っている。特に、録音・録画機能の活用や、キーボード入力による書く活動、児童が電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動は、全国平均に比べ非常に高い。

8. 英語の授業でのICT機器の活用状況（中学校【2】）

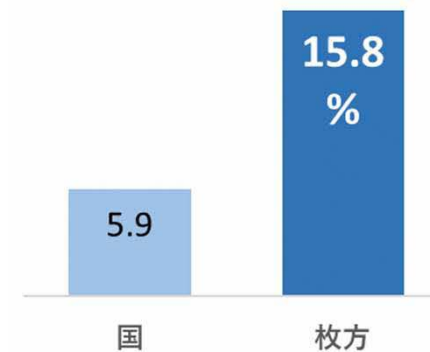
7) 生徒が遠隔地の生徒等と英語で話をして交流する活動



8) 遠隔地の教師やALT等とチーム・ティーチングを行う授業



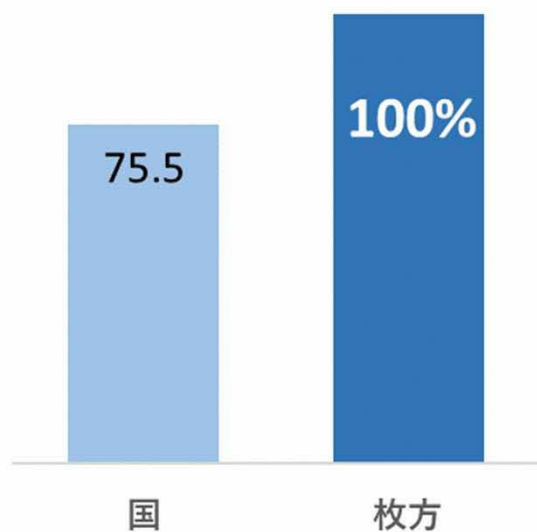
9) 生徒が遠隔地の英語に堪能な人と個別に会話を行う活動



今後、海外や遠隔地との交流の割合の向上が課題となる。

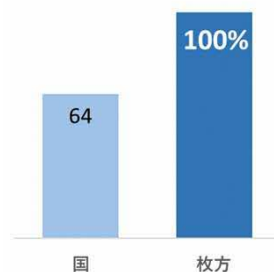
9. 小学校・中学校の連携に関する状況

小学校との連携に取り組んでいる中学校

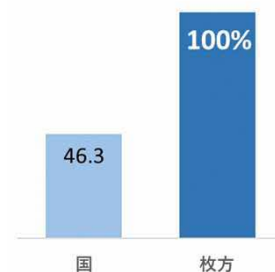


実施した連携の内容

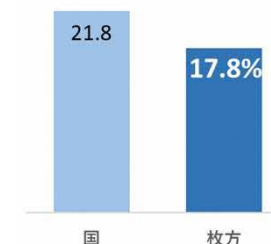
1) 情報交換 (互いの取組・実践を情報として交換する)



2) 交流 (情報交換した内容について研究協議する。互いの学校で授業を行う。)



3) 小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定



枚方市のすべての中学校で、小学校との連携に取り組んでいる。互いの情報交換や交流については、100%実施しているが、小中連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定が課題である。



令和4年度全国体力・運動能力、 運動習慣等調査の結果について



令和5年6月

枚方市教育委員会事務局
学校教育部
教育指導課

調査の概要

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 教育委員会や学校において、本調査を活用し、子供の体力や運動習慣等の状況を把握するとともに、課題に対応した施策の実施や体育・保健体育の授業等の充実・改善に役立てる。

2. 調査時期

令和4年(2022年)4月から7月

3. 調査対象

小学校第5学年・中学校第2学年

4. 調査の内容

(1) 児童・生徒に対する調査

ア. 実技に関する事項:小中学校ともに8種目

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン〔中学校は持久走(男子1,500m、女子1,000m)かどちらかを選択〕、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ(小学校)・ハンドボール投げ(中学校)

イ. 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関するもの

(2) 学校・教育委員会に対する質問紙調査

子供の体力向上や運動習慣の確立に向けて取組み等に関するもの

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果（体力・運動能力）

小学校 調査の結果と概要

小学校【平均値】		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
		(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
5年男子	R4 枚方市	15.74	18.78	35.01	36.81	44.7	9.37	149.39	20.1
	R4 大阪府	16.02	18.56	33.42	38.2	43.39	9.49	150.04	19.48
	R4 全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31
5年女子	R4 枚方市	16.02	17.55	39.9	35.07	34.57	9.61	143.45	12.86
	R4 大阪府	15.92	17.47	37.81	36.33	34.13	9.7	142.89	12.6
	R4 全国	16.1	17.97	38.18	38.66	36.97	9.7	144.55	13.17

- ◆小学校では、男女とも長座体前屈、50m走において全国平均を上回った。その他の種目では全国平均を下回り課題が見られた。
- ◆小学校全8種目のうち、男子は5種目、女子は7種目で大阪府平均を上回った。

中学校 調査の結果と概要

中学校【平均値】		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
		(kg)	(回)	(cm)	(点)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
2年男子	R4 枚方市	28.77	25.6	42.05	50.66	419.08	77.01	8.08	192.79	20.12
	R4 大阪府	27.95	25.53	42.02	50.66	422.56	77.5	8.14	192.36	19.43
	R4 全国	28.99	25.74	43.87	51.05	409.81	78.07	8.06	196.89	20.28
2年女子	R4 枚方市	22.23	20.08	44.17	45.08	304.98	50.46	8.91	167.19	12.24
	R4 大阪府	22.7	21.38	45.1	45.63	313.47	50.81	9.08	163.1	11.7
	R4 全国	23.21	21.67	46.07	45.81	302.89	51.6	8.96	167.04	12.61

- ◆中学校では、女子の持久走、50m走、立ち幅とびにおいて、全国平均を上回った。その他の種目では全国平均を下回り、課題が見られた。
- ◆中学校全9種目のうち、男子は7種目、女子は4種目で、大阪府平均を上回った。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果（体力・運動能力）

同一集団での比較【令和元年度（当時小学2年生）と令和4年度（小学5年生）】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
小学5年 男子【令和4年度】	15.74	18.78	35.01	36.81	44.7	9.37	149.39	20.1
小学2年 男子【令和元年度】	10.59	14.59	26.96	26.42	26.82	10.63	127.38	11.19
伸び	5.15	4.19	8.05	10.39	17.88	1.26	22.01	8.91

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
小学5年 女子【令和4年度】	16.02	17.55	39.9	35.07	34.57	9.61	143.45	12.86
小学2年 女子【令和元年度】	9.75	13.08	31.90	26.54	18.42	11.18	116.00	6.88
伸び	6.27	4.47	8.00	8.53	16.15	1.57	27.45	5.98

同一学年での比較【令和元年度（小学5年生）と令和4年度（小学5年生）】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
小学5年 男子【令和4年度】	15.74	18.78	35.01	36.81	44.7	9.37	149.39	20.1
小学5年 男子【令和元年度】	15.43	18.86	27.85	38.16	51.14	9.84	148.64	21.81
伸び	+0.31	-0.08	+7.16	-1.35	-6.44	+0.47	+0.75	-1.71
	↗	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↘

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
小学5年 女子【令和4年度】	16.02	17.55	39.9	35.07	34.57	9.61	143.45	12.86
小学5年 女子【令和元年度】	14.11	18.04	34.06	35.95	39.94	9.64	135.61	11.82
伸び	+1.91	-0.49	+5.84	-0.88	-5.37	+0.03	+7.84	+1.04
	↗	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↗

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果（体力・運動能力）

同一集団での比較【令和元年度（当時小学5年生）と令和4年度（中学2年生）】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)
中学2年 男子【令和4年度】	28.77	25.6	42.05	50.66	77.01	8.08	192.79
小学5年 男子【令和元年度】	16.26	19.37	31.93	38.84	47.97	9.32	149.61
伸び	12.51	6.23	10.12	11.82	29.04	1.24	43.18

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)
中学2年 女子【令和4年度】	22.23	20.08	44.17	45.08	50.46	8.91	167.19
小学5年 女子【令和元年度】	15.88	18.43	36.30	37.53	38.43	9.55	143.17
伸び	6.35	1.65	7.87	7.55	12.03	0.64	24.02

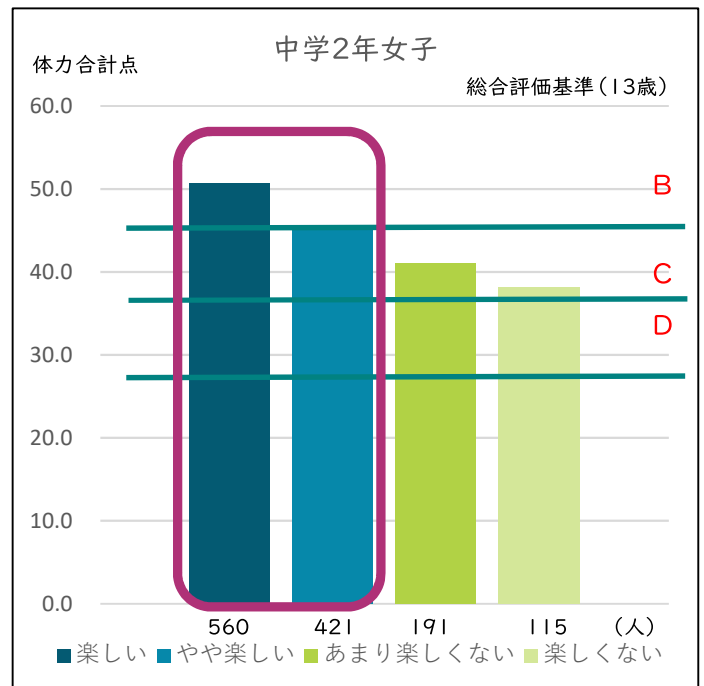
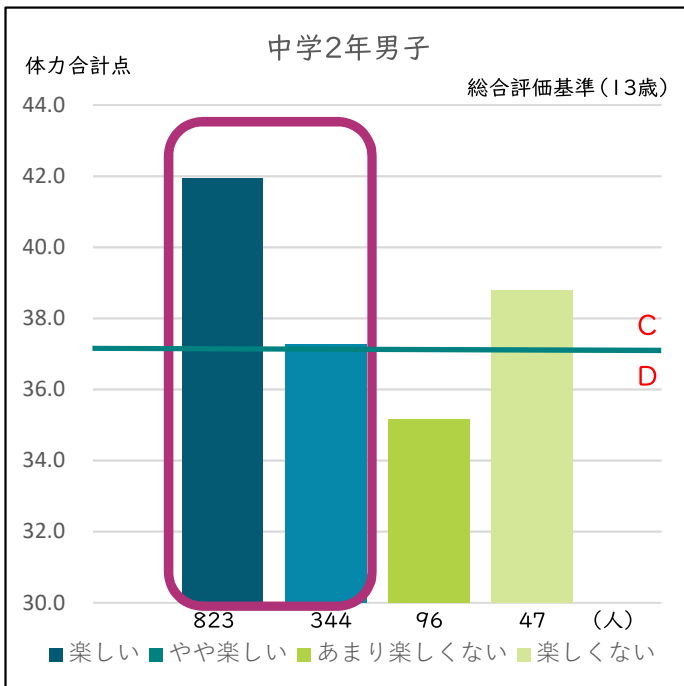
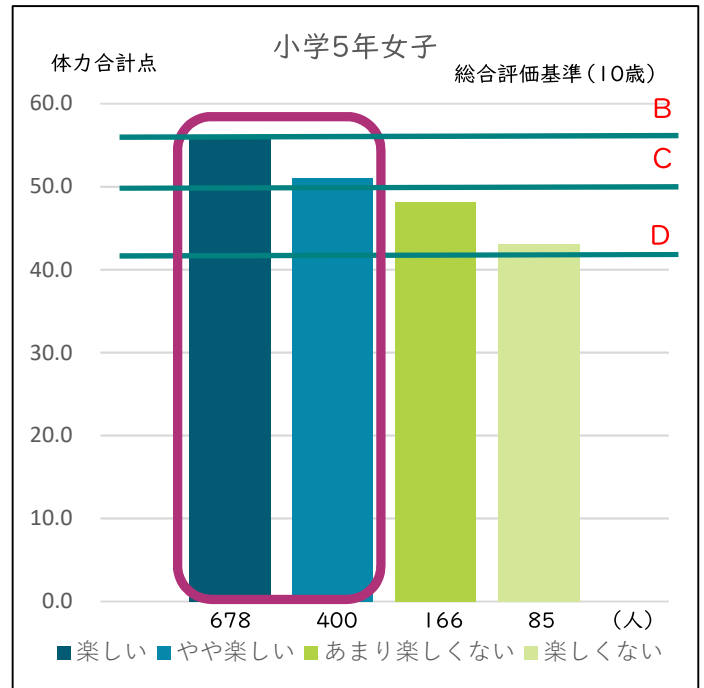
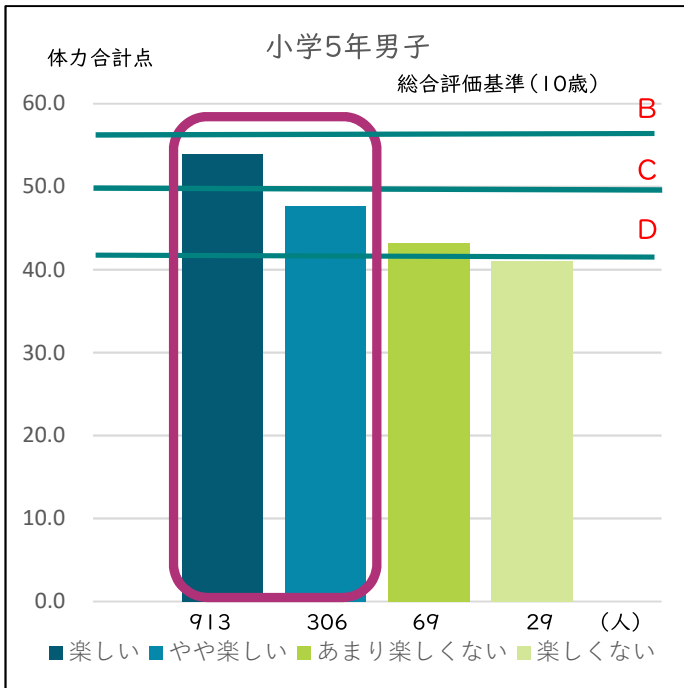
同一学年での比較【令和元年度（中学2年生）と令和4年度（中学2年生）】

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
中学2年 男子【令和4年度】	28.77	25.6	42.05	50.66	419.08	77.01	8.08	192.79	20.12
中学2年 男子【令和元年度】	28.32	26.54	43.50	49.88	404.12	85.67	7.98	193.69	21.08
伸び	+0.45	-0.94	-1.45	+0.78	-14.96	-8.66	-0.10	-0.90	-0.96
	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
中学2年 女子【令和4年度】	22.23	20.08	44.17	45.08	304.98	50.46	8.91	167.19	12.24
中学2年 女子【令和元年度】	23.12	22.36	45.13	46.30	287.10	57.75	8.86	167.89	13.01
伸び	-0.89	-2.28	-0.96	-1.22	-17.88	-7.29	-0.05	-0.70	-0.77
	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果（質問紙調査）

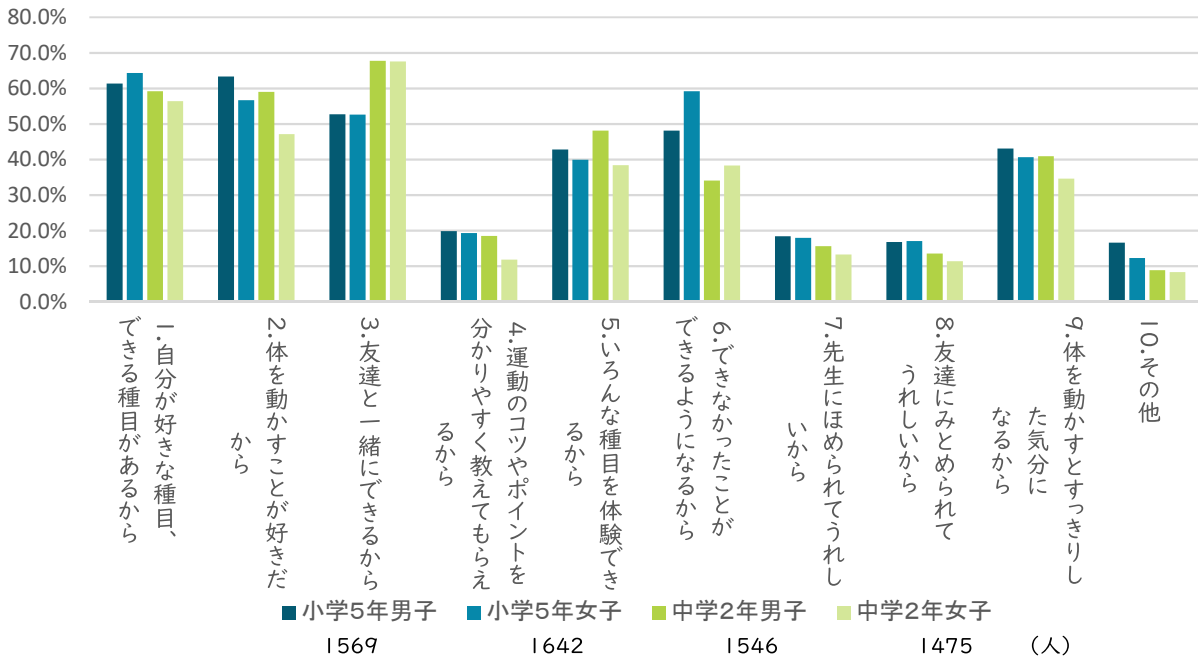
「体育（小学校）・保健体育（中学校）の授業は楽しい」の回答結果と体力合計点の関係



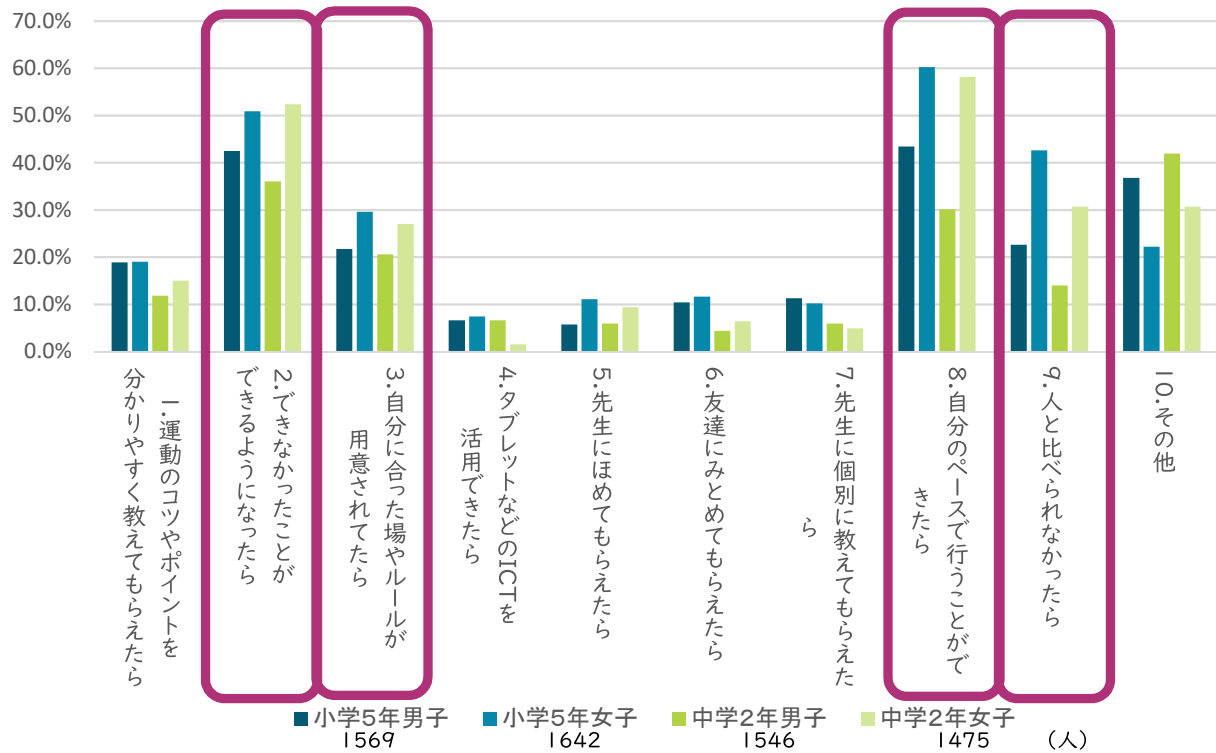
「体育の授業が楽しい!」と感じているほど
体力テストの点数もいいんだね。
これからも楽しい体育の授業にしないと!

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果（質問紙調査）

体育・保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した人の理由



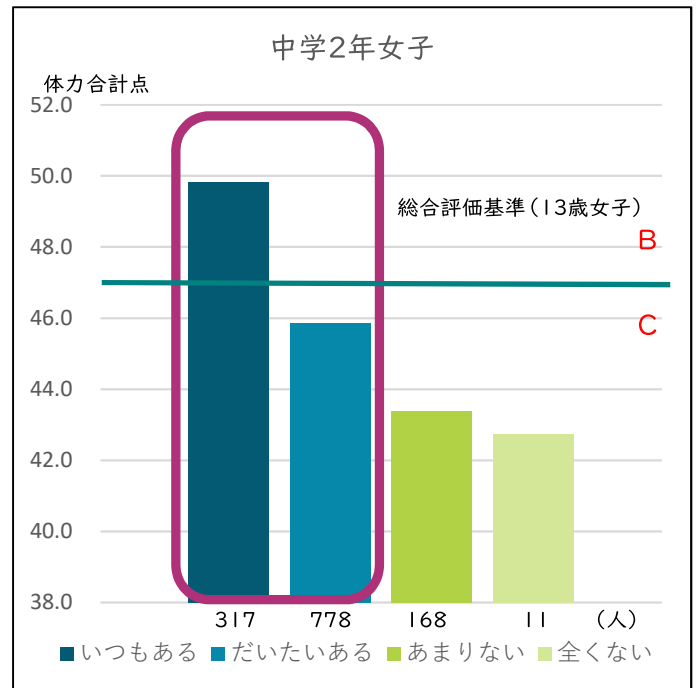
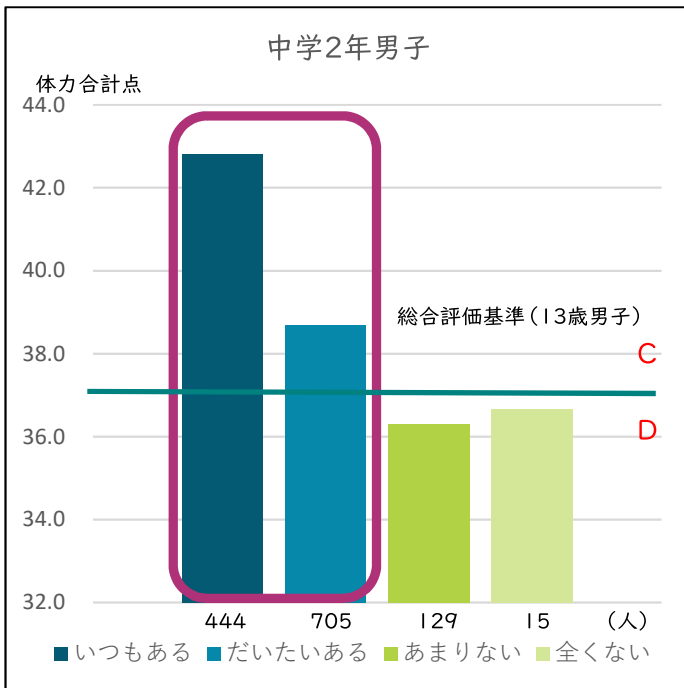
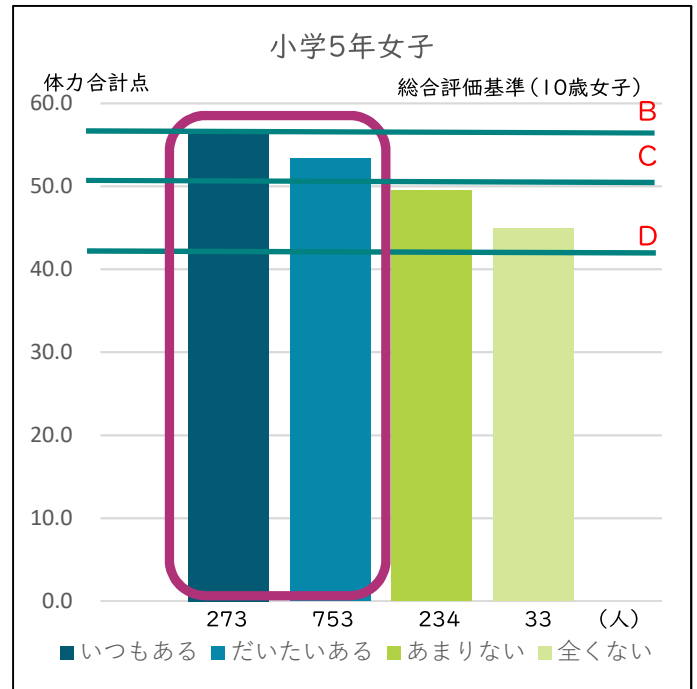
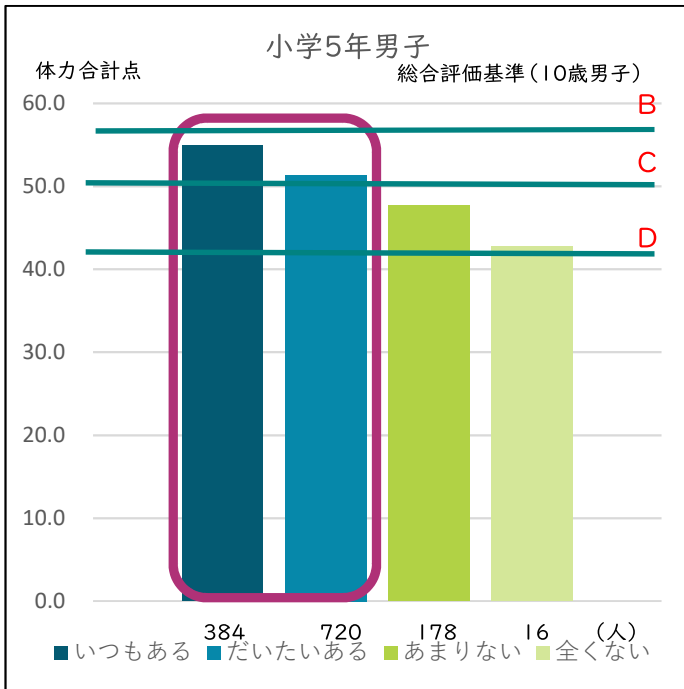
体育・保健体育の授業は「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した人が今より体育の授業が楽しくなるために求めていること



「できなかったことができるようになれば」、体育の授業が楽しくなるんだね。そのためには、「個人に応じた授業の展開」ができるといいことがわかるね。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果（質問紙調査）

「体育授業で目標を意識することで『できたり、わかったり』することがありますか」の回答結果と体力合計点の関係

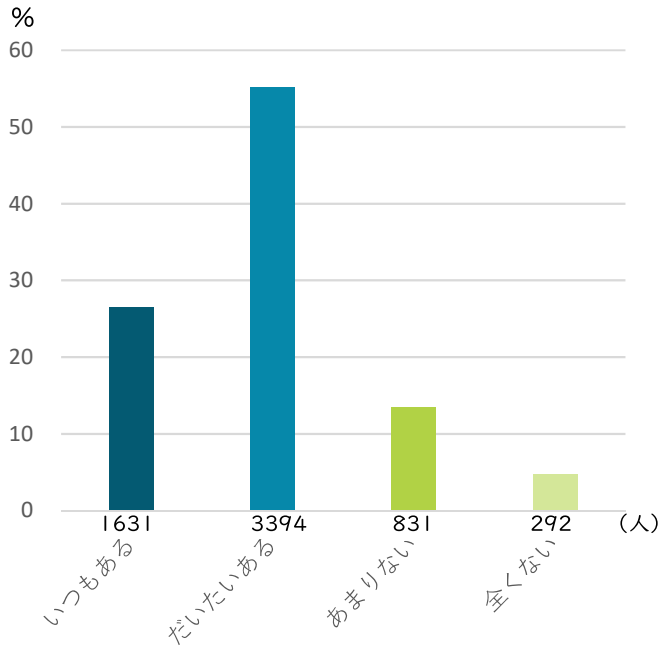


「自分で目標を立てる」人ほど、体力テストの点数が高いんだね。
体力向上には、自分で目標を立てることが大事なんだね!

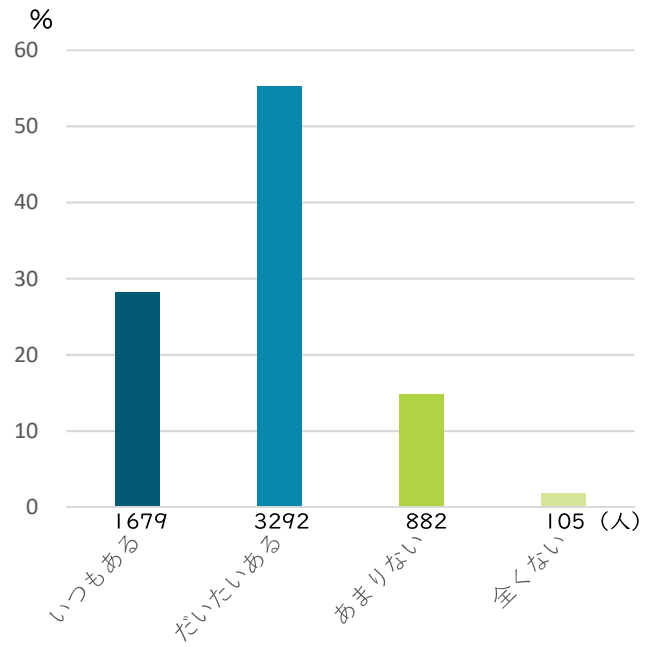
全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果（質問紙調査）

※ 全学年の回答を加算して表しています

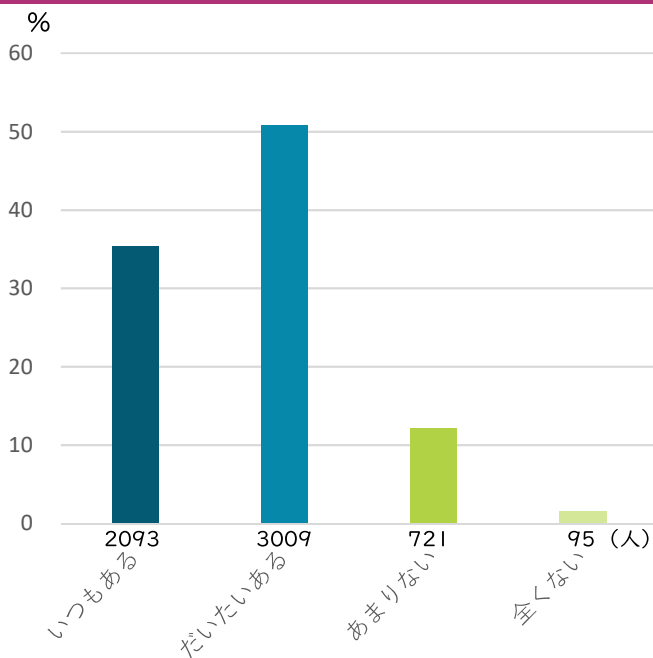
目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」すること



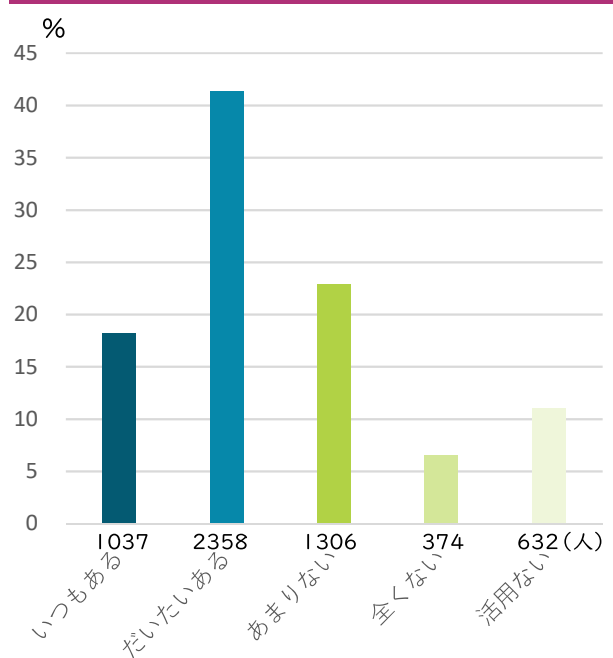
自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」すること



友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」すること



ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること



「目標（ねらい・めあて）の意識」「自分にあった練習方法」「助け合ったり、教え合ったりする」「ICTの活用」が、授業のポイントだね！

★研究テーマについて★

研究テーマは

「強い体から健やかな心へ

～体育科を通して、子どもの『たい』を大切にしたい授業づくり～」



- ・子どもたちが「体育科」に対して、主体的に考え、学ぶ姿
- ・タブレットなどをツールとして使用し、互いに考えや意見を交流し、伝え合う姿

★1年生★

【予備運動】

①リズムジャンプ

・曲「ハッピージャムジャム」(J=120)に合わせて、前後ペアでいっしょに線を使って跳ぶ

②リズムなわとび

・曲「あおきいろ」(J=100)に合わせて、なわとびの基本技を跳び続ける。



【主運動】

「ぴよんぴよんランドをつくろう」

・いろいろな跳び方とぶ場を組み合わせ運動する。



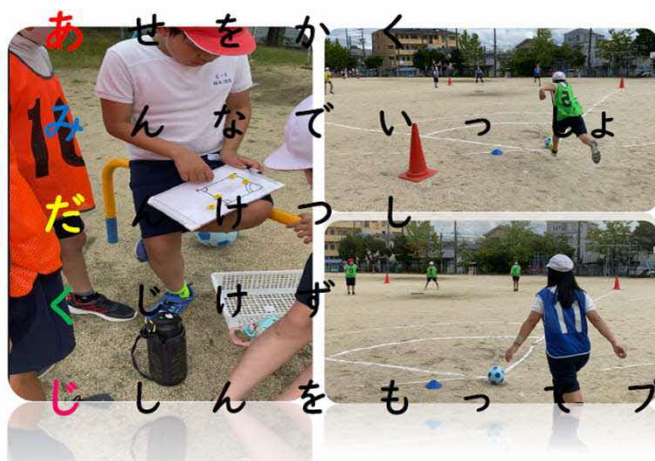
最後にぴよんぴよんランドをつくるのはワクワクするね。それを目標にそれまでの学習もがんばれそうだね。

校内研究

これまでの取り組み内容

年度	研究テーマ
令和2年	こども同士の対話を通じ、考えを深める指導
令和3年	指導と評価の一体化 ～子どもたちが考え判断できる力を高める授業～
令和4年	学年に応じた指導法の研究 ～話し合いから実践に生かす力を育てる～

6年「あみキック」(E ポール運動 イ ベースボール型(キックベース))



あみ〇〇の進め方

- ・問題点や疑問点を出し合い、
に「アミーティング」でルールを作る

あみ〇〇のよさ

- ・自分たちでルールを作り上げていくことで、
自主性が養われ、楽しく活動できる

あみ〇〇の留意点

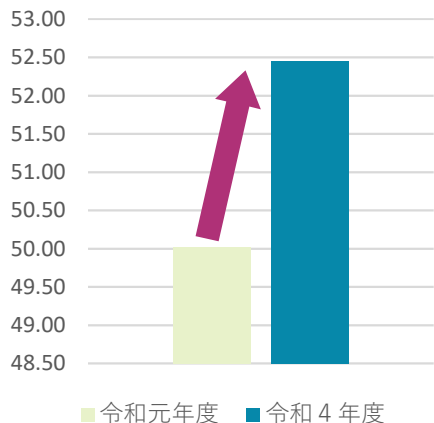
- ・児童主導になりすぎると目標から遠ざかっ
てしまうこともある



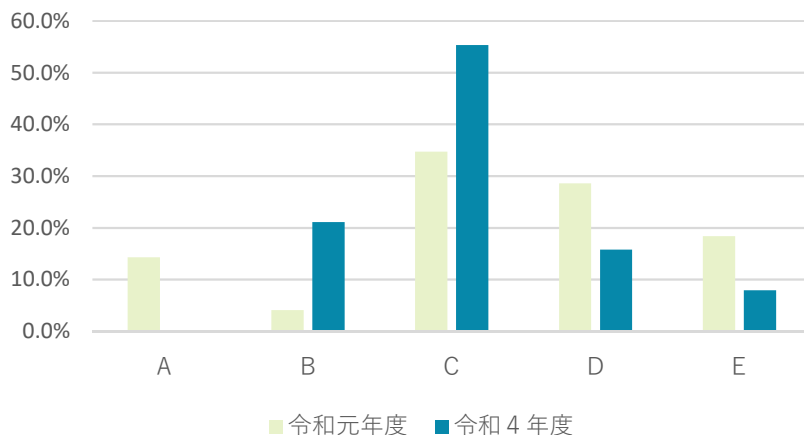
自分たちで作ったルールなら、みんなが納得してゲームを楽しめるね!

令和4年度 体力向上推進研究校での実践【菅原小学校】

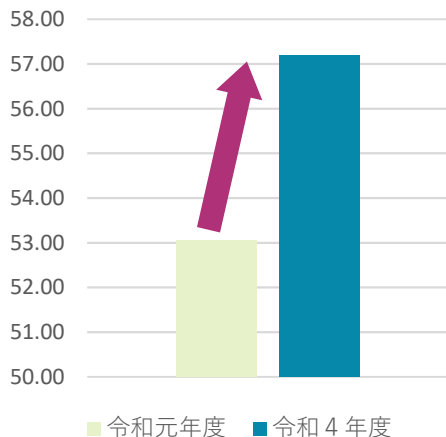
男子 体力合計点の平均



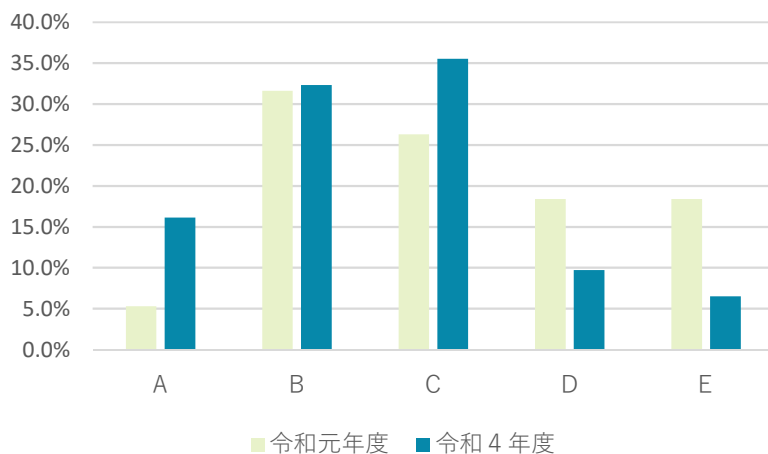
男子 総合評価の割合



女子 体力合計点の平均



女子 総合評価の割合



令和元年度に比べると令和4年度の「体力合計点の平均」が大きく向上しているね。

令和4年度は、総合評価 C以上の割合が増えているね。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 【資料】

● 項目別得点表

小学校

● 男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23~25	23~25	43~48	46~49	69~79	8.1~8.4	180~191	35~39
8	20~22	20~22	38~42	42~45	57~68	8.5~8.8	168~179	30~34
7	17~19	18~19	34~37	38~41	45~56	8.9~9.3	156~167	24~29
6	14~16	15~17	30~33	34~37	33~44	9.4~9.9	143~155	18~23
5	11~13	12~14	27~29	30~33	23~32	10.0~10.6	130~142	13~17
4	9~10	9~11	23~26	26~29	15~22	10.7~11.4	117~129	10~12
3	7~8	6~8	19~22	22~25	10~14	11.5~12.2	105~116	7~9
2	5~6	3~5	15~18	18~21	8~9	12.3~13.0	93~104	5~6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

● 女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上
9	22~24	20~22	46~51	43~46	54~63	8.4~8.7	170~180	21~24
8	19~21	18~19	41~45	40~42	44~53	8.8~9.1	160~169	17~20
7	16~18	16~17	37~40	36~39	35~43	9.2~9.6	147~159	14~16
6	13~15	14~15	33~36	32~35	26~34	9.7~10.2	134~146	11~13
5	11~12	12~13	29~32	28~31	19~25	10.3~10.9	121~133	8~10
4	9~10	9~11	25~28	25~27	14~18	11.0~11.6	109~120	6~7
3	7~8	6~8	21~24	21~24	10~13	11.7~12.4	98~108	5
2	4~6	3~5	18~20	17~20	8~9	12.5~13.2	85~97	4
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下

● 総合評価基準表

小学校

● 男女共通

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33~38	41~46	46~52	52~58	58~64	63~70
C	27~32	34~40	39~45	45~51	50~57	55~62
D	22~26	27~33	32~38	38~44	42~49	46~54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

※総合評価は8種目全て実施した場合に合計得点で判定する。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 【資料】

● 項目別得点表

中学校

● 男子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4'59"以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51~55	33~34	58~63	60~62	5'00"~5'16"	113~124	6.7~6.8	254~264	34~36
8	47~50	30~32	53~57	56~59	5'17"~5'33"	102~112	6.9~7.0	242~253	31~33
7	43~46	27~29	49~52	53~55	5'34"~5'55"	90~101	7.1~7.2	230~241	28~30
6	38~42	25~26	44~48	49~52	5'56"~6'22"	76~89	7.3~7.5	218~229	25~27
5	33~37	22~24	39~43	45~48	6'23"~6'50"	63~75	7.6~7.9	203~217	22~24
4	28~32	19~21	33~38	41~44	6'51"~7'30"	51~62	8.0~8.4	188~202	19~21
3	23~27	16~18	28~32	37~40	7'31"~8'19"	37~50	8.5~9.0	170~187	16~18
2	18~22	13~15	21~27	30~36	8'20"~9'20"	26~36	9.1~9.7	150~169	13~15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9'21"以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

● 女子

得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3'49"以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33~35	26~28	58~62	50~52	3'50"~4'02"	76~87	7.8~8.0	200~209	20~22
8	30~32	23~25	54~57	48~49	4'03"~4'19"	64~75	8.1~8.3	190~199	18~19
7	28~29	20~22	50~53	45~47	4'20"~4'37"	54~63	8.4~8.6	179~189	16~17
6	25~27	18~19	45~49	42~44	4'38"~4'56"	44~53	8.7~8.9	168~178	14~15
5	23~24	15~17	40~44	39~41	4'57"~5'18"	35~43	9.0~9.3	157~167	12~13
4	20~22	13~14	35~39	36~38	5'19"~5'42"	27~34	9.4~9.8	145~156	11
3	17~19	11~12	30~34	32~35	5'43"~6'14"	21~26	9.9~10.3	132~144	10
2	14~16	8~10	23~29	27~31	6'15"~6'57"	15~20	10.4~11.2	118~131	8~9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6'58"以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

● 総合評価基準表

中学校

● 男女共通

段階	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上	65以上	65以上
B	41~50	47~56	51~59	52~60	53~62	54~64	54~64	54~64
C	32~40	37~46	41~50	41~51	42~52	43~53	43~53	43~53
D	22~31	27~36	31~40	31~40	31~41	31~42	31~42	31~42
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下

※総合評価は8種目全て実施した場合に合計得点で判定する（持久走と20mシャトルランは選択）。

教育委員会の活動状況（令和5年5月24日～6月23日分）

日時	会議・行事等	場所	出席者
5月24日	水 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
5月24日	水 校長研修	教育文化センター	橋野教育委員
5月25日	木 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
5月25日	木 学校視察（体育祭）	第一中学校	橋野教育委員
5月26日	金 MOA美術館 枚方・交野児童作品展実行委員会委員との面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
5月26日	金 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
5月29日	月 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
5月30日	火 第5回教育委員会定例会・協議会	輝きブラザきらら	尾川教育長 谷元・橋野・近藤・中西教育委員
5月31日	水 令和5年度第1回枚方市教育に関する事務の点検評価委員会議	輝きブラザきらら	尾川教育長 谷元・橋野・近藤・中西教育委員
6月1日	木 委嘱状交付（ネクスト・ギガ・リプレイスデザイナー）	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月2日	金 全国ICT教育首長協議会総会、全国ICT教育首長サミット	東京ファッションタウンビル	尾川教育長
6月5日	月 教育子育て委員協議会	枚方市役所	尾川教育長
6月5日	月 学校視察	磯島小学校	橋野教育委員
6月6日	火 蹉跎中学校長との面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月6日	火 校長会	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月7日	水 北河内地区人権教育研究協議会会長との面談	輝きブラザきらら	尾川教育長

1 / 2 ページ

日時	会議・行事等	場所	出席者
6月7日	水 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月7日	水 事務職員との打ち合わせ	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月8日	木 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月9日	金 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月12日	月 全員協議会	枚方市役所	尾川教育長
6月12日	月 学校視察	香陽小学校	谷元教育委員
6月14日	水 校長面談	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月15日	木 6月定例会議 本会議	枚方市役所	尾川教育長
6月16日	金 教育政策会議	輝きブラザきらら	尾川教育長 谷元・橋野・近藤・中西委員
6月16日	金 市長表敬	枚方市役所	尾川教育長
6月19日	月 「教育PRO」取材	輝きブラザきらら	尾川教育長
6月19日	月 第22回枚方市小学校合同音楽会	枚方市総合文化芸術センター	谷元教育委員
6月20日	火 教育子育て常任委員会	枚方市役所	尾川教育長
6月20日	火 第22回枚方市小学校合同音楽会	枚方市総合文化芸術センター	中西教育委員
6月21日	水 第22回枚方市小学校合同音楽会	枚方市総合文化芸術センター	尾川教育長、橋野教育委員
6月22日	木 6月定例会議 本会議	枚方市役所	尾川教育長
6月23日	木 6月定例会議 本会議	枚方市役所	尾川教育長

2 / 2 ページ

第6回 枚方市教育委員会定例会 会議録						
開会	令和5年6月30日午前10時00分		閉会	令和5年6月30日午前11時17分		
休憩	午前11時11分から午前11時13分（協議会開催）					
日程	議案番号	案 件			結果	
1		教育長報告				
2	報告第23号	臨時代理事項の報告について （1）学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について			承認	
3	報告第24号	委任を受けて執行した事項の報告について （1）令和4年度英語教育実施状況調査の結果について			聴取	
4	報告第25号	委任を受けて執行した事項の報告について （1）令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について			聴取	
5	報告第26号	委任を受けて執行した事項の報告について （1）生徒指導について			聴取	
構成員	教 育 長	尾川 正洋		構成員	教 育 委 員	近藤 孝
	教 育 委 員	谷元 紀之			教 育 委 員	中西 悠子
	教 育 委 員	橋野 陽子				
説明員	副 教 育 長	岩谷 誠		説明員	学校教育部副参事 （いじめ対策担当）	前村 卓志
	総 合 教 育 部 長	今市 将和			教 育 政 策 課 長	笠井 二郎
	学 校 教 育 部 長	新保 喜和			児 童 生 徒 支 援 課 長	倉田 仁司
	総 合 教 育 部 次 長	大西 佳則			児 童 生 徒 支 援 課 主 幹	中口 恵未子
	学 校 教 育 部 次 長	河田 典子			教 職 員 課 長	高山 和子
	学 校 教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 室 長	齋藤 博			教 育 指 導 課 長	井手内 太吾
	学 校 教 育 部 教 育 支 援 室 長	木村 聡		記 録	教育政策課課長代理	高松 健大

		傍聴の人数	1人
--	--	-------	----

○尾川教育長 開会に先立ち、委員の出席状況について報告を求めます。

今市総合教育部長。

○今市総合教育部長 委員の出席状況について報告します。本日の会議の出席者は全員出席です。

以上、報告を終わります。

○尾川教育長 報告のとおり、定足数に達しておりますので、ただいまから令和5年第6回枚方市教育委員会定例会を開会いたします。

次に、本定例会の会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、会議規則第15条第2項の規定により、教育長において中西委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、日程1、教育長報告を行います。

今回の教育長報告では、前回定例会で報告した以降の私の活動状況を報告させていただき、その後、教育委員さんの活動状況についてご報告いただきます。また、6月2日の洪水警報発令時の各学校の対応状況、支援教育充実審議会の今後のスケジュール、いじめ重大事態への対応状況について、後ほど事務局から報告させていただきます。最後に、6月定例月議会等の質疑の内容を共有させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

まず、前回定例会後の私の活動状況でございます。

5月24日から6月14日まで校長面談を行っております。昨年度からの継続勤務の校長先生からは、これまでの取り組み状況を踏まえて、今年度に取り組む内容について確認させていただきました。新年度から校長に昇任した校長先生からは、この新年度に入ってから2か月間の状況を踏まえつつ、前向きで意欲的な取り組み方針をお伺いし、期待を込めて激励を行ったところでございます。

次に、5月31日には点検評価員会議に参加しました。後ほど、近藤委員から報告いただきます。

6月1日ですが、ネクスト・ギガ・リプレイスデザイナーに係る委嘱状を株式会社わけわけ代表取締役社長の野中健次様に交付させていただきました。この職は、5月の教育委員会協議会でもご説明したとおり、国のGIGAスクール構想に伴い整備した1人1台のタブレット端末の賃貸借契約の期限が令和7年度に終了となることから、国の動向を踏まえながら早期に端末のリプレイスの方針を決定していくため、専門的な知見を活用することとして新たに置くこととした特別職の非常勤職員です。しっかりと検討を進めていきたいと考えております。

次に、6月2日には、全国ICT教育首長協議会総会等に参加してきました。総会では、佐賀県多久市の横尾市長がICT教育の効果や、これまでの協議会の取り組み、そして、5月31日に永岡文部科学大臣に1人1台端末の更新に係る予算要望に行かれたということなどの報告がございました。その際、永岡文部科学大臣からの宿題として、端末を十分に活用していない自治体があり、課題となっていると。端末が役立っていることについて、どんどんPRしてほしいというようなお話があったとのこと。本市としても様々な機会を捉えてPRしていきたいと考え

ております。

6月6日に開催しました校長会では、本年3月8日に中教審から答申されました次期教育振興基本計画について、そして、同じく3月に策定されました第2次大阪府教育振興基本計画について、共有のために、これは私のほうから説明を行ったところです。

なお、第4期の国の教育振興基本計画は、6月16日に閣議決定されたところですが、この計画の策定に当たりましては、教育基本法を普遍的な使命としつつ、新たな時代の要請を取り入れていく「不易流行」の考え方を基調としていること、それから、コンセプトとして、「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」こういったものを掲げて、「グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成」それから「誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」など、5つの基本的な方針と16の教育政策の目標、基本政策及び指標が示されております。計画につきましては、答申の内容から、学校における働き方改革に関する記述や、不登校児童生徒への支援の推進に関する記述内容が拡充されているところです。

また、第2次大阪府教育振興基本計画については、これまでの成果を踏まえつつ、「おもろいやん」と様々な物事に興味・関心、好奇心を持ち、チャレンジしていく姿勢、それから、「ええやん」と互いを認め合い、評価することができる心、「まかしとき」と主体的に人や社会の役に立とうとする精神等、子どもたちが時代の変化を乗り越えたとともに、将来を生き抜く力を身につけられるよう、大阪の教育が育む人物像として掲げられているところです。

本市におきましても、来年度に向けて教育振興基本計画の中間見直しの時期になりますので、国や大阪府のこれらの計画も参酌しながら、市長部局と連携して見直しを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次に、6月7日ですが、本市の共同学校事務室の在り方について、事務職員の方と意見交換を行ったところです。

6月19日から22日までは、第22回の枚方市小学校合同音楽会を開催いたしました。この後、谷元委員からご報告いただきます。

それでは、私の活動状況は以上としまして、教育委員さんの活動状況ということで、まず、谷元委員から報告をお願いします。

○谷元委員 私からは、6月19日から22日の4日間開催された第22回枚方市小学校合同音楽会について報告します。

今回の合同音楽会は4年ぶり、広い会場で行われるのは6年ぶり、枚方市総合文化芸術センターでは初めてとなる合同音楽会でした。私は19日の初日第1部に出席しました。開演に先立ち、伏見市長が挨拶をされ、山田東小学校をスタートに7校の4年生、5年生、6年生が合唱し、練習の成果を披露しました。初めての大きなホールでの合唱にも緊張せず、7校全ての学校の子どもたちがきれいな歌声をホールに響かせ、観客を魅了してくれました。私自身も音楽会というより、合唱コンクールのような質の高い歌声に感動しました。保護者のアンケートにも「子どもたちの一生懸命でひたむきな歌声に、自分の子の学校でなくても感動で涙が出ました」とか「学校それぞれみんなが一つになって歌声を合わせている一生懸命な姿に感激しました」「コロナ禍で

入学し、学校で合唱、合奏する機会もない学年でしたので、とても感激しました」など、大変喜ばれている感想がたくさん寄せられたそうです。伏見市長も、子どもたちの歌声、合唱の質の高さに感心しておられました。

今回の合同音楽会では、教育推進プランナーの田口先生が23校を訪問指導されたことも大きかったと思います。田口先生は、子どもたちに次のように指導されたそうです。「声を合わす前に心を合わせなさい。心から発した言葉は心に届く。上辺だけの言葉は通り過ぎてしまう。ドラム缶を叩いたらうるさいが、遠くまでは届かない。お寺の鐘は静かだが、遠くまで届く。響いているから。歌声も同じ。いかに響かせるか。歌声は美しく響かせることがポイント」などを大切にし、指導されておられるそうです。また、田口先生が音楽を教える先生方に望むこととして、「児童生徒は教師が学んだ分だけ学び、教師が伸びた分だけ伸びる。練習は本番のように、本番は最高の練習のように教師自身が心がける。教育活動には、個人プレーとチームプレーがある。音楽活動はまさにチームプレー。他の教科にない特性。教師としてこの2つのプレーを身につけることが必要である。目と声は化粧できない。目と声の響きに、その人の人格が出る」など、現場の先生に指導するとき、心がけてほしいとされています。田口先生は、枚方市が歌声あふれる町になることを望んでおられるとお聞きしました。田口先生の音楽に対する情熱が、子どもたちの心に響き、歌声となって、今年度のすばらしい合同音楽会になったと感じました

改めて、学校関係者の皆様、教育委員会事務局の皆様にご挨拶申し上げますとともに、来年度も質の高い合同音楽会にさせていただきよう、よろしくご挨拶申し上げます。

以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。

私も着任して初めてということで、今年、実際聞きましたけども、本当に子どもたち、すばらしい歌声でした。また、各学校の規模とか、子どもたちの状況に合わせて歌も選択し、子どもたちが日々の取り組みを言葉に乗せて歌っているような、そういう印象を非常に受けましたので、本当によかったなと思っております。先ほど谷元委員からもありましたが、学校関係者、それから、今回事務局も相当頑張ってくれたなと思っております。保護者の皆様も非常に高い評価をしていただいたというふうに聞いておりますので、来年度、さらに、これがよくなるように、また、できればこういったものをしっかり記録に残すことについても、ちょっと考えていきたいと思っております。そういったことも含めて、ご相談しながら進めていきたいと思っております。

ありがとうございました。

続きまして、5月31日に開催しました令和5年度第1回枚方市教育に関する事務の点検評価員会議につきまして、近藤委員のほうから報告をお願いいたします。

○近藤委員 それでは私のほうから評価員会議につきましての報告をさせていただきます。

和田委員長、それから浦嶋委員、木村委員の3名の評価委員の先生方と懇談させていただき、意見も交換させていただきました。

冒頭、和田委員長より、「数年評価委員を受けていますけれども、枚方市は教育に関して熱心に細かいところまで施策を取り組んでおられる」とお褒めもいただきました。

表題の会議は3案件を中心に進められました。

まず、案件1ですけれども、教育に関する事務の点検及び評価報告書案の概要説明においては、66件の主要事業が評価対象でありましたが、目指すべき方向がさらに分かりやすい表現に細かく変更を加えていただいております。

案件2に関しましては、前年度の点検評価員会議における改善意見への対応、というところですが、昨年には様々な項目での評価の表し方をご提案いただいております、ある事業評価では、「効果測定で用いる「対前年度比」より、「全国平均」との比較などもより分かりやすいのでは」とのご指摘もあり、より適正な指標について検討中、との回答があるなど、事務方のほうからで、さらに市民の皆様にご理解していただきやすい教育行政の業務評価と、指標の表現の仕方など、よい議論と感じました。総括で和田委員長より、過去3年のコロナ影響での実績値の変動も大きいであろうけれども、本年5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが5類に変わったことで、従来手法にて評価していただければと思っております、とのご意見をいただきました。

案件3、その他では、和田委員長より、不登校の児童数が枚方でも大きな伸びを示していることが気にかかるということで、このテーマで意見交換となりました。冒頭に委員長より枚方市の不登校児童生徒数の推移で、令和2年から3年間の経過におきまして、1000人当たりの出現数をみると、中学校で4.75、5.79、6.35、小学校でも1.04、1.3、1.8ということで、確実に厳しい状況が出てきているという指摘がありました。事務局からは、当市の不登校対策取り組みとしての令和4年策定の不登校支援ガイドの策定での不登校支援の考え方、学校における支援、教育委員会における支援、関係機関による支援、民間支援団体における支援、を総括したガイドを作成し、周知させているところであるとの説明がありました。学校現場には、やはり不登校の子を学校への思いが強くと。子どもを軸に考えて、フリースクールなどの選択肢を提示するガイドブックを作成したとのございました。適応指導教室「ルポ」でございますけれども、これにおきましてもICT活用のオンライン「ルポ」も徐々に進めていっているというご説明もありました。最近では、小学校低学年での、幼稚園から入学時に学校になじめていないという学校の先生の困り感の見立てもあります。これに対して、「ほっとルーム」なる居場所づくりを進めている小学校もあるとの説明もございました。そこでは、非常によい新年度のスタートが切れているとの答えも出ているようございました。中学校には学校独自の校内適応指導教室があるが、小学校では空き室状況が異なり、様々各校の取り組みをしていただいている現状の説明もありました。

ここで和田委員長より、小中学校の不登校の人数のばらつきについて、再度質問がありました。事務局より、中学校が圧倒的に多いんですが、学校、校区におけるばらつきが大きいとの説明もあり、浦嶋委員よりは、不登校の分析が非常に難しいポイントや学校以外の施設に通うことを欠席扱いになっていることで、社会的つながりの把握が難しいのではとの質問にも、事務局より、一定調査、把握ができているとの回答があり、学校とも相談し、課題検討しているとの報告もございました。

和田委員長より教育委員の意見を求められ、近藤のほうからは、不登校解決策は複合要因でやはり解決の難易度が高く、令和2年の文科省不登校理由の分析データと令和5年のデータはあま

り大きく変わっていないけれども、コロナの影響は少なくなく、3年間で総数は増えている現状があり、小学校へ入学してすぐの困り感が小1プロブレムそのものであり、幼保小連携プログラムは非常に大切であると意見を述べさせていただきました。

不登校は問題ではありますが、学校に来られなくても、どこかで社会とのつながりを切らせない、そのための居場所を提供することが喫緊の重要策とも考えます。その肝は、やはりICT活用とも考えます。

谷元委員からは、やはり自分の居場所づくりは重要で、「中学校での不登校の顕在化の根っこは小学校にあるのでは」との見解を述べられ、中学校にも、また、小学校にも居場所がある環境が児童には安心感や納得感を与え、不登校抑制の効果が出るのではとの見解も示されました。居場所と感じたところに子どもは行くであろうし、学校という場所が、不登校児童生徒にとって、居場所になっていないのではとの意見も述べられており、まずは小学校、中学校への先ほどの「ほっとルーム」設置の積極推進が今後の検討課題とも言えると思いました。

橋野委員からは、学校訪問時の「ほっとルーム」の視察状況を述べられ、高い評価を述べておられました。

中西委員からは、ご自身の子育てでの幼稚園や保育所からの小学校入学時での困り感から、保育所から小学校への入学時での連携が重要と感じるというご意見を述べられました。

最後に、尾川教育長より、やはり各学校への適応指導教室、あるいは、そのような子どもたちの居場所づくりの必要性や不登校実態把握での教育委員会だけではなく、学校でさらに進めることもできる支援体制も重要であろうし、取り組みを進めているとお話や、市長からも総合教育会議において、不登校対策の早急な推進について、指示を出していただいているということも報告されました。

最後になりますけれども、現在、校長面談をされている中で、コロナ明けで若干よい兆しで不登校児童の現時点での新規数が昨年と比較し少ないということも報告されました。また、不登校の地域事情による差があるにせよ、学校がいかに楽しいところかを感じさせる授業の中身や、やはりICTを活用して、さらに授業充実を図り、児童生徒にとって楽しい授業づくりを着実に進めていくことが現状となっているとの報告もございました。

その他話題もございましたけれども、非常に有意義な1時間の意見交換をさせていただき、さらなる枚方市の教育を推進していくヒントを多く頂けたと感謝しております。

以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。

点検評価員会議では、専門家の委員の先生方から、しっかりご意見をいただいて進めているところでございますので、また、引き続き進めていきたいなという点と、先ほど申し上げましたように、次の教育振興基本計画の見直しといったような点でも、また今後ご意見をいただきながら、評価指標の在り方も含めて検討をお願いしたいと思っておりますので、その辺りも協議させていただきながら進めていきたいなと思っております。

ありがとうございました。それでは、事務局からの報告に移りたいと思います。

次に、6月2日の洪水警報発令時の各学校の対応状況についてということで、今回6月2日の

この洪水警報発令時の関係では、学校や市民からも少しその対応を見直すべきではないかという
ような要望も出ております。そういった具体的な中身も含めまして、今後、見直しを検討してい
きたいと思っているところですが、当日の各学校の状況について、まずは共有のために倉田児童
生徒支援課長のほうから説明をお願いします。

- 倉田児童生徒支援課長 では、まず非常変災時の臨時休業措置等の取扱いについてですが、教育
委員会作成の対応方針、台風の接近等による枚方市立幼稚園、小学校、中学校の臨時休園、臨時
休業において、登園登校後に暴風警報や洪水警報が発令された場合は、次のように指示をしてい
ます。

1つ目、小学校は地区ごとの集団下校、中学校は複数生徒による下校をする。2つ目、雨量、
通学路等の状況を勘案し、各学校園に待機する場合もある。なお、枚方市に土砂災害警戒情報、
または、校区内に避難指示が発表・発令され、この対応方針と異なる対応を行う場合には、学校
から各家庭へお知らせするように指示をしています。

次に、6月2日の実際の対応についてですが、こうした対応方針に基づき、各学校が地域の降
雨及び通学路の状況を踏まえ、給食の提供の可否も含め、下校開始時間について、総合的に判断
したもので、結果的に小学校では、下校準備ができ次第下校した学校14校、給食を食べさせてか
ら下校した学校が30校となりました。中学校ではすぐに下校した学校が12校、給食・弁当を食べ
てから下校した学校が7校となりました。今回の対応は、子どもの安全を第一に考えた上で、で
きる限り学校での学びを止めないようということを考え作成した現在運用している対応方針に
沿って行いました。しかしながら、学校からは校長判断としたことで、「他校と対応を比較する
苦情が来た」や「地震発生時の対応と洪水情報に関する対応に統一性がないので、現場が混乱し
ている」などの意見をいただきました。また、保護者の方々からも各校の対応が違うことや、避
難指示が出ている中での下校の安全性についてなど、様々な意見をいただいたところです。

このことから、災害時に児童生徒の安全確保を図るという観点で、現在、教育委員会や危機管
理部などで構成する学校園安全対策検討委員会において、今回の対応について検証を行い、マニ
ュアルの見直しも含めたより安全な対応について検討を進めることとしています。

- 尾川教育長 ありがとうございます。

今、ご説明させていただいたように、現在の対応方針につきましては、学校園の安全対策検討
委員会で検証を行って、より安全な対応方針について今後お諮りしていきたいと思っております。

現在の対応方針を定めたときの考え方として、大雨警報の取扱いが変わったということはあつ
たんですけども、登校した後の対応をどうするかということがしっかり検討がされていなかった
点が課題になっています。明日も、また大雨が来るような状況もありますし、ここ最近、大雨
で特別警報が出るような状況が発生しておりますので、当面の対応について、速やかな検討をま
ず進めていって、最終的には、枚方市も地域によって全然学校の状況違いますので、学校ごとの
類型に合わせた整理っていうのも示していくということが必要じゃないかなと思っております。

この関係で何かご質問等ありましたら、よろしいでしょうか。

それでは次に、支援教育充実審議会の今後のスケジュールについて、倉田児童生徒支援課長か
ら報告をお願いします。

○倉田児童生徒支援課長 令和5年（2023年）6月7日水曜日、午後3時から開催予定としておりましたが第1回枚方市支援教育充実審議会につきまして、市教育委員会事務局児童生徒支援課内で新型コロナウイルス感染症による体調不良者が複数出たことから、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により延期としていました。改めて委員の皆様と日程の調整を行い、令和5年（2023年）7月7日金曜日、午後1時から、輝きプラザきらら7階、たまゆらイベントホールにて実施することとなりました。

当日は、これまで本市が進めてきた支援教育について、現状や課題等を総括の上、支援教育の質の向上方策を含めた今後の枚方市の支援教育の在り方について諮問を行います。

○尾川教育長 ありがとうございます。

今回、事務局の都合で審議開始が約1か月遅れるということになりましたが、支援教育の質の向上というのは喫緊の課題ですので、委員の皆様と日程調整しながら、できる限りこの遅れを取り戻すスケジュールというのを考えていきたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

それでは、次にいじめの重大事態への対応の関係でございます。

これは、私ほうからご説明させていただきます。

令和3年6月に認知しました重大事態につきましては、本年3月に再発防止のための報告書を教育委員会として取りまとめ、学校及び教育委員会事務局の不適切の対応があったことから、被害生徒及び保護者に対しまして、私、教育長から直接報告書を届けるとともに、真摯に反省し、おわびをさせていただいたところです。

本件に関しましては、昨年12月に慰謝料等の損害賠償請求事件訴訟が提起されておりました。学校や教育委員会の不適切な対応があったことも含めまして、本事案により被害生徒及び保護者がつらい思いをされたこと、加えて、報告書をまとめるまでに多くの時間を費やし、多大な心労をおかけしたこと、裁判を長引かせることにより被害生徒及び保護者にさらなるご負担をおかけすることがないように、令和5年3月の第1回口頭弁論の期日の時点で本市から和解を申し入れたところでございます。

このたび、双方協議によります和解案の内容について妥当であると判断できたことから、6月19日付で市長に和解に応じる内容の専決処分をしていただき、昨日6月29日に議会にも報告をさせていただきました。

改めまして、被害生徒及び保護者の方には深くおわびを申し上げるとともに、係る事態を二度と起こさないように再発防止に取り組んでまいりたいと思います。

続きまして、議会の質疑状況について共有させていただきたいと思います。

まず、6月5日の教育子育て委員協議会の質疑の状況でございます。

こちらにつきましては、前回の教育委員会協議会の中でご説明させていただいた内容についての質疑ということになりますが、まず、禁野小学校の現況について、新しい学校づくりのモデルとなるよう効果や成果を生かしてほしいといった要望ですとか、また、木材活用も検討してほしいと。それから跡地活用については、施設総量の最適化の視点も含めて議論してほしいといったような要望をいただいているところでございます。

次に、③街区に設置する生涯学習市民センター・図書館の指定管理者制度の導入については、6月20日に行われました教育子育て常任委員会の議論を後ほど紹介しますので、その中でご説明したいと思います。

次に、いじめ対策の推進についてでございます。新たないじめ対策の体制の詳細についての質問が、どういった体制になるのかという質問内容が多かったところです。また、教職員の実践的な研修をしてほしいというような要望をいただいております。

次に、小中学校における1人1台端末の機器更新については、更新時に保護者負担が生じないようにということ、また、更新の際には授業に支障が出ないようにというようなご要望をいただいております。

続きまして、6月15日に行われました本会議での枚方市学校いじめ重大事態調査委員会条例の制定についての質疑をご紹介します。

6月15日には、本会議において全会一致でご可決いただきました先ほど申し上げた条例の制定につきまして、次のような要望があったところです。1つ目としましては、第三者のみの委員会となるので、委員報酬の透明性の確保をしてほしいというような要望がございました。それから、次には総合的ないじめ対策というものを整理すべきであるということ。それから、枚方市のいじめ防止基本方針の見直しにより、いじめ対策の全体像を整理すべきと。こういった要望をいただいております。

次に、6月20日の教育子育て常任委員会でございます。昨日の6月29日に本会議で賛成多数でご可決いただきました枚方市立図書館条例の一部改正につきまして、質疑の詳細や討論の内容は、昨日の本会議における委員長報告を参照いただきたいと思いますと思いますが、要望事項としては次のようなものがあつたところでございます。まず1つ目としまして、整備に当たり社会教育委員会議の意見を聞くべきというような要望でした。2つ目としましては、指定管理者制度を導入して利用者のニーズに沿った柔軟な運営をしてほしいと。それから3つ目としまして、開館時に図書が不足しないようにバックアップの図書の十分な確保をといったような要望がございました。4つ目としましては、生涯学習交流センターとの複合施設なので、そのメリットを生かした運営をということで要望いただいております。最後、5つ目ですが、今後、市民の意見や専門家の意見を十分に反映しながら図書館の運営を進めていけるよう、改めて図書館運営協議会の設置を求めるといったような要望もあつたところでございます。

最後の要望につきましては、本市としては社会教育委員会議のほうで、図書館運営協議会の機能を果たしているという整理をしておりますので、引き続きそのような形になるかと思いますが、そういったような要望があつたということでございます。

それから、一般質問の関係でございますが、6月22日から27日の4日間で行われました一般質問では、次のような要望が出されているところです。まずは、中学校の全員給食に向けた着実な取り組みをしてほしいということと、それから、将来的な給食費の無償化をといったような要望も出されております。それから、登下校時の交通安全や防犯対策について、ソフト面やハード面の対策の充実をといったような要望をいただいております。それから、小中学校における探究的な学びの充実をといった要望。それから、小学生の通学かばんについては、ランドセル以外の選

択肢があることについて、しっかり周知をしてほしいといったような要望もいただいております。また、学校の働き方改革の推進をといった要望もいただいております。

先ほど不登校の話も出ましたが、不登校支援のための民間団体との連携や、通うための助成、あるいは、専門家の配置をといった要望もいただいております。

それから、小中学校の施設開放につきましては、ルール違反がないようにといったような要望もいただいております。それから、放課後オープンスクエアのさらなる充実をといったような要望もいただいております。それから、支援学校の増設について、大阪府に働きかけよといったような要望もいただいております。また、小学生への認知症の周知啓発の強化をといった要望もいただいております。それから、先ほど事務局報告にもありましたが、小中学校における非常変災時の対応についての見直しをといった要望もいただいております。また、小中学校のさらなるタブレット活用を踏まえた端末の更新をといった要望もいただいております。

次に、不審者対策や災害対応など、学校園の危機管理について、適切な対応ができるよう、実践的な訓練やマニュアルの見直しをといったような要望もいただいております。また、小学校の水泳授業における民間活力の活用計画の早期策定をといったような要望もいただいております。

最後に、学校安全監視ボランティアの適切な確保といったような要望もいただいております。こういった要望を踏まえながら、また来年度予算も必要なものについては検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

教育長報告につきましては、以上で終了とさせていただきます。

それでは日程2、報告第23号、臨時代理事項の報告について（1）学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱についてを議題とします。説明を求めます。新保学校教育部長。

○新保学校教育部長 ただいま上程いただきました報告第23号、臨時代理事項の報告についてご説明申し上げます。

議案書1ページをご覧ください。

報告いたしますのは、教育委員会の権限に属する事務といたしまして、特に緊急を要すると認められましたため、教育長が臨時に代理したもので、教育長に委任する事務等に関する規則第3条第3項の規定により教育委員会にご報告し、ご承認をお願いするものでございます。

議案書2ページをご覧ください。報告は、ページ中段に記載の2. 臨時代理事項に記載のとおりでございます。

議案書3ページをご覧ください。臨時代理第4号、学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について、ご説明いたします。本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第3条第2項の規定により、令和5年5月21日付で教育長が臨時代理いたしましたものでございます。本来であれば、令和5年5月30日に行いました前回の教育委員会定例会においてご報告すべき事案でありました。しかし、事務処理の遅延により、このたびのご報告となりましたことをご了承いただきますよう、お願いいたします。

議案書4ページをご覧ください。（1）委員の解嘱につきましては、このたび、山之上小学校学校運営協議会委員の高木良知委員、田中香世子委員より、令和5年5月21日をもって辞任の申出がありましたので、解嘱するものでございます。（2）委員の委嘱につきましては、山之上小

校区のコミュニティ協議会より推薦があった加藤祐氏、竹林礼子氏を委嘱するものでございます。任期は、令和5年5月22日から令和6年3月31日まででございます。

なお、参考といたしまして、5ページに新たに委嘱する学校運営協議会委員名簿を掲載しておりますのでご参照ください。

以上、報告第23号、臨時代理第4号の説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご承認いただきますよう、お願いいたします。

○尾川教育長 これから質疑に入ります。質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。

これから報告第23号を採決いたします。本件を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○尾川教育長 ご異議なしと認めます。よって本件を承認することに決しました。

続きまして、日程3、報告第24号、委任を受けて執行した事項の報告について(1)令和4年度英語教育実施状況調査の結果についてを議題とします。

説明を求めます。新保学校教育部長。

○新保学校教育部長 ただいま上程いただきました報告第24号、委任を受けて執行した事項の報告について、ご説明いたします。

議案書6ページをご覧ください。

本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第4条第2号の規定により教育委員会に報告するものでございます。

令和4年12月に実施しました令和4年度英語教育実施状況調査の結果概要について報告させていただきます。別紙1をご覧ください。

本調査は、毎年、文部科学省が全国小中学校を対象に、各学校における英語教育の実施状況を把握し、今後の英語教育の充実や改善等の検討の参考にするために実施しています。これらの資料は、同調査結果の公開を受けて、枚方市の結果を分析したものです。2ページからは、枚方市の結果を掲載しております。

この結果と比較して、枚方市の成果は4点挙げられます。

2ページをご覧ください。中学3年生のCEFR A1レベル相当以上、これは英検3級レベルですが、の生徒の割合は、全国平均値が49.2%に対して、枚方市は55.3%でした。

3ページをご覧ください。授業の半分以上の時間において、言語活動を行っている学校の割合は、全国平均値は小学校が92%、中学校が75%に対して、枚方市は小中ともに100%でした。

6ページをご覧ください。中学校における教師の英語の使用量については、発話の半分以上を英語で行っている教師の割合は、全国平均値73.4%に対して、枚方市は100%でした。

10ページをご覧ください。1人1台端末の活用について、(4)児童生徒が発話や発音などを録音・録画に使用した割合は、小学校では、全国平均値66.1%に対して、枚方市は88.6%でした。中学校については、12ページをご覧ください。(4)同項目において、全国平均値78.4%、枚方市は100%でした。

7ページにお戻りください。CEFR B2レベル、これは英検準1級相当ですけれども、こ

れ以上を取得している英語担当教師の割合は、全国平均値41.6%に対して、枚方市21.9%であり、今後、同割合の向上が課題として挙げられます。

8ページをご覧ください。小学校におけるJTE・NETの活用に関して、(6)外国語の授業外での児童生徒との交流の割合が低くなっています。児童生徒が授業外でも英語を活用する機会が増えることは、英語の運用能力を伸ばす観点から有益だと捉えていますので、JTE・NETの研修の際に、授業外でも積極的に児童生徒とコミュニケーションを取ることを引き続き指導していきます。

11ページをご覧ください。(7)児童が遠隔地の児童等と英語で話をして交流する活動について、今後、枚方英語村オンライン等を通して、さらに進めていきたいと考えております。

今後の予定といたしまして、今、ご覧いただいております別紙1、令和4年度英語教育実施状況調査枚方市結果を枚方市ホームページに掲載いたします。

以上、簡単ではございますが、報告第24号の説明とさせていただきます。

○尾川教育長 それでは、これから質疑に入ります。質疑はございませんか。谷元委員。

○谷元委員 今、ご報告いただいたんですけれども、2点質問したいと思います。

まず1点目ですが、1のCEFR A1レベル相当以上、英検3級レベルの生徒の割合について質問します。

枚方市の中学3年生はCEFR A1レベル相当以上を取得している生徒及び相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合は全国・大阪府の値を上回っていますが、CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒の割合は、全国の値に比べて低いという結果になっています。英語力を有すると思われる生徒の割合が多いのに、取得している生徒の割合が少ないのは、これはどういうことなのでしょうか、教えてください。

○尾川教育長 井手内教育指導課長。

○井手内教育指導課長 枚方市では、令和3年度まで中学2年生を対象にGTECの受検を実施しています。しかし、1人1台端末の導入に伴い、一度だけの検定試験の受検よりも継続的な練習による学習効果が期待でき、生徒の英語力のCEFRベースでもレベルチェックすることができる学習アプリ、English 4skillsを市内全中学2年生、3年生を対象に導入しました。このことにより、枚方市のCEFR A1レベル相当以上を有すると思われる生徒の割合が、令和3年度48.0%から令和4年度55.3%に上昇しています。

一方、取得するためには、英語の実用能力を測る何らかの検定試験を受検し合格する必要があり、English 4skillsでは習得には至らないことから、習得している生徒の割合が低いのだと思われれます。今後、English 4skillsのさらなる活用により、生徒が自分の英語力に自信を持ち、外部検定を受検することで、CEFR A1レベル相当以上を取得している生徒の割合を上昇させていきたいと考えています。

○尾川教育長 谷元委員。

○谷元委員 もう一点ですね、先ほどの報告の5なんですけれども、授業における英語担当教師の英語使用状況では、枚方市の英語担当教師は全員、半分以上を英語で行っており、オールイングリッシュの授業を目指していることがうかがえます。しかし、6. 英語担当教師の英語力では、

CEFR B2レベル、英検準1級相当以上を取得している英語担当教師の割合は、枚方で21.9%と、全国41.6%と比べて約半数の割合のようです。どういう理由があるのでしょうか。また、今後、割合を増やすような取り組みを考えておられるのかお聞きしたいと思います。

○尾川教育長 井手内課長。

○井手内教育指導課長 教師の英語力について具体的な目標が提示されたのは、平成14年7月に文部科学省が策定した英語が使える日本人育成のための行動計画で、英語教員が備えておくべき英語力の目標として、英検準1級、TOFLE550点、TOEIC730点程度が明記されました。平成14年度以降に学生だった英語教員は、教員になる前に資格の取得を意識したと考えられます。また、第2期教育振興基本計画では、英検準1級程度以上、CEFR B2レベル以上ということですが、を取得した英語担当教師の割合について、中学校50%以上が目標として定められました。その後、第3期教育振興基本計画では、各都道府県において、英語教育改善プランを定めることとされ、その中で大阪府においては、国が求める英語力CEFR B2を有する英語担当教員の割合を目標値である50%を達成していないことから、大阪府として資格検定試験の活用を促すとともに、英語力向上に資する研修を実施するなど、英語教員の英語力向上に向けた取り組みを実施する必要があるとされているところです。この英語教育改善プランの取扱いについては、今般策定された第4期教育振興基本計画においても引き継がれているところです。

いずれにしても、英語教育に限らず、教育基本法及び教育公務員特例法でも定められているように、教員は絶えず研究と修養に励むことが求められています。今後、教師の継続的な学びを支える主体的な姿勢を支援していくため、企業等が主催する各種研修や教員としての資質・能力を伸ばすための各種検定受検への参加奨励や、その費用補助の仕組みができないかなど、教員の人材育成に係る取り組みについて、事務局全体で検討してまいります。

○尾川教育長 谷元委員。

○谷元委員 それぞれ回答ありがとうございます。

理由についてはよく分かりました。検定試験の受検に代わり、学習アプリEnglish 4 skillsを導入して、生徒の英語力向上に取り組んでいることも理解しました

枚方市は、平成18年度から小中一貫英語教育の特区を取得し、英語教育に力を入れてきたのは、事務局の皆さんもご承知だと思います。英語担当教員やNETの先生が授業力向上に取り組み、英語の学力は、令和元年度に実施された全国学力学習状況調査においても、国語や数学よりも高い結果になっていると把握しています。今回の英語教育実施状況調査でも、一部を除き、国や府と比較して高い傾向が見受けられます。しかし、英語担当教師の英語力はCEFR B2レベル、準1級相当以上を取得している英語担当教師の割合が国に比べ約20ポイント低く、約半数の割合であり、府と比較しても約15ポイント低い割合になっております。

先ほどの教育委員の活動報告の中で、田口プランナーが「児童生徒は教師が学んだ分だけ学び、教師が伸びた分だけ伸びる」と言われていると話しました。なるほどなど、私も教えられました。

枚方市は学習指導要領を踏まえ、学び続ける教職員を育成し、枚方の子どもの生きる力を育む、をテーマに教職員研修を実施しています。教職員の授業力向上は、指導力向上であり、英語担当教員の英語のスキルを磨くことは、英語を指導する上で欠かすことはできません。

井手内課長から、企業等が主催する各種研修や、教員としての資質・能力を伸ばすための各種検定受検への参加奨励、その費用補助の仕組みができないかなど、教員の人材育成に係る取り組み組について事務局全体で検討してまいりますとのご回答がありました。ありがとうございます。経験の浅い教員が増える中、人材育成は喫緊の課題であります。英語担当教員のモチベーションを上げ、支援しながら、教員の英語力を高める施策を検討していただけるようお願いいたします。以上です。

○尾川教育長 ありがとうございます。

枚方市でも、本当、教員不足の状況もありますので、こういった費用補助みたいなことも含めて取り組むことによって、教員の確保につながるという面もあるかと思っておりますので、そういった点も含めて、しっかり検討していきたいなというふうに思っております。

そのほか、質疑よろしいでしょうか。では、これもちまして、質疑を終結いたします。

以上もちまして、報告第24号の聴取を終結いたします。

それでは日程4、報告第25号、委任を受けて執行した事項の報告について（1）令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてを議題とします。

説明を求めます。新保学校教育部長。

○新保学校教育部長 ただいま上程いただきました報告第25号、委任を受けて執行した事項の報告について、ご説明いたします。

議案書7ページをご覧ください。

本件は、教育長に委任する事務等に関する規則第4条第2号の規定により教育委員会に報告するものでございます。

令和4年度に実施しました全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、報告させていただきます。別紙2をご覧ください。

3ページをご覧ください。小学校では、男女とも長座体前屈、50メートル走において、全国平均を上回ったものの、その他の種目では全国平均を下回りました。小学校全8種目のうち、男子は5種目、女子は7種目で大阪府平均を上回ったという結果となりました。中学校では、女子の持久走、50メートル走、立ち幅跳びにおいて、全国平均を上回ったものの、そのほかの種目では全国平均を下回りました。中学校全9種目のうち、男子は7種目、女子は4種目で大阪府平均を上回ったという結果となりました。

4ページをご覧ください。上段は同一集団での比較といたしまして、令和元年度の枚方市の2年生の記録と令和4年度の枚方市の5年生の記録を比べて、どれぐらいの伸びが見られたかを示しています。また、下段は同一学年での比較といたしまして、令和元年度と令和4年度との5年生の記録を比較しております。特に男子の長座体前屈、50メートル走、女子の長座体前屈、立ち幅跳びが大きな伸びを見せた一方、男女ともに20メートルシャトルランは大きく下がる結果となりました。

5ページをご覧ください。上段は同一集団での比較といたしまして、令和元年度の枚方市の5年生の記録と令和4年度の枚方市の中学2年生の記録を比べ、どれぐらいの伸びが見られたかを示しています。また、下段は同一学年での比較といたしまして、令和元年度と令和4年度の中学

2年生の記録を比較しております。男女ともに持久走やシャトルランといった持久力が必要な競技が大きく下がる結果となりました。

6ページをご覧ください。児童質問紙調査の「体育・保健体育の授業は楽しい」と体力テストの合計点の関係を表したグラフです。この結果から「体育・保健体育の授業は楽しい」と感じているほど体力合計点も高くなっていることが分かります。

7ページをご覧ください。上段は、児童質問紙調査「体育・保健体育の授業を楽しい」と答えた児童生徒が、体育が楽しい理由として挙げている項目です。下段は、「体育・保健体育の授業をあまり楽しくない」と答えた児童生徒が、今より体育の授業が楽しくするために求めていることです。この結果から「できなかったことができるようになる授業づくり」や「一人ひとりに合わせた授業の展開」などが実現していくことで、さらに体育の授業を楽しいと思える児童生徒を増やしていくことができると考えられます。

8ページと9ページをご覧ください。これらの結果から、目標（狙い・目当て）の意識、自分に合った練習方法、助け合ったり教え合ったりする、ICTの活用が授業のポイントであることが分かります。

10ページをご覧ください。ここからは令和4年度体力向上推進研究校での取り組みを2つ紹介します。藤阪小学校では、「強い体から健やかな心へ 体育科を通して、子どもの「～したい」を大切にしたい授業づくり」といたしまして、場面設定を工夫することや、タブレットなどをツールとして活用し、互いの考えや意見を交流し合える授業づくりを研究しています。1年生の授業では、縄跳びの学習活動に対して、まずは跳躍力を高める予備運動を行い、主運動として「ぴよんぴよんランドをつくらう」という場面を設定しています。児童が楽しく運動するだけでなく、ぴよんぴよんランドを充実させるという目標のために、毎時間、たくさんの跳び方に挑戦したくなるような仕掛けが用意されています。

11ページをご覧ください。菅原小学校の6年生は、従来のキックベースのルールの問題点を話し合い、自分たちがルールをつくり上げていく学習を行いました。写真からも分かるように、ピッチャーがない、ベースではなく赤いコーンを使っているなど、主体性を重視した学習になるよう取り組みました。できる児童だけが楽しい体育ではなく、みんなで楽しく、各自で目標をもって活動できる体育の授業の展開が行われており、12ページのとおり、男女ともに体力合計点が令和元年度から大きく上昇しています。

今後の予定といたしまして、別紙2、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてを枚方市ホームページに掲載いたします。

以上、簡単でございますが、報告第25号の説明とさせていただきます。

○尾川教育長 それでは、これから質疑に入ります。質疑はございませんか。谷元委員。

○谷元委員 今、報告あったんですけれども、枚方市の小学校、中学校では、全国体力調査で令和3年度、令和4年度、男子・女子ともに全国を下回るという結果だったというように思いますが、体力向上推進研究校として3年間、菅原小学校、それから藤阪小学校が実践されたことを、他の小学校や中学校にどのように周知されて、また、今後の枚方市全体の体力向上につなげるおつもりなのか具体的に教えてください。

○尾川教育長 井手内教育指導課長。

○井手内教育指導課長 菅原小学校の取り組みは、令和4年度枚方市体力向上研究モデル校指定校、令和4年度枚方市学校園活性化推進事業として、令和5年2月10日に公開授業と研究協議、大阪体育大学から小林准教授を講師として招いて講演会を開き、枚方市内の小中学校の先生方に向けて公開しました。また、藤阪小学校においても、令和5年2月28日に同様の研修会を開きました。こうした研修会を通して、枚方市中に広く体力向上研究を広げてまいりました。

令和5年度は、ICT活用による子どもの体力向上事業に取り組み、全小中学校がアクションプランという、体力向上に係る計画書を作成し、取り組んでいる最中です。このアクションプランを作成するための研修を全小中学校悉皆研修として実施しております。この研修講師にも小林准教授を招聘しており、アクションプランをどのように立てていくのか、どうしたら子どもたちが体を動かしたくなる体育の授業が行えるかなど、令和3・4年度の本市の結果を踏まえてお話をいただいております、各校の取り組みに生かされています。

今後もこれらの取り組みを一元化し、ポータルサイトに掲載するなど、周知の方法を工夫しながら進めていく予定です。

○尾川教育長 谷元委員。

○谷元委員 ありがとうございます。

意見ですけれども、大阪体育大学の小林准教授には、以前からいろいろな学校でご指導ご助言を受け、授業改善と体力向上の取り組みに関わっていただいております。また、枚方市の現状についてもご理解いただいていると思います。

体力向上については、体育の授業だけでなく、学校での遊び時間や放課後の子どもたちの過ごし方にも関わっており、すぐに成果が現れるものではありません。体育の授業が子どもたちにとって楽しく有意義な時間になるよう、様々な工夫が必要です。

子どもは本来、体を動かすことが大好きで、時間を忘れて遊び、その結果、運動能力や体力の向上につながるというのが理想です。体育の授業は、子どもたちが体を動かしたくなるような運動のきっかけをつくり、運動することが楽しい、面白い、もっとやってみたい、もっとうまくなりたい、できるようになりたいと思えるような時間にすることが大切です。体育の授業が子どもたちにとって主体的に取り組み、子ども自身が自分たちでルールを考えたり、つくったりすることで、楽しい時間になり、自然と運動能力や体力が身につくことが望ましいと考えます。

アクションプランの取り組みにより、子どもたちの体力向上、運動能力がさらに身につくよう、今後も研究を深め、広めていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

○尾川教育長 ありがとうございます。

そのほか、質疑はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして質疑を終結いたします。以上をもちまして、報告第25号の聴取を終結いたします。

続きまして、日程5、報告第26号、委任を受けて執行した事項の報告について（1）生徒指導についてを議題とします。

なお、本件につきましては、枚方市情報公開条例第5条第1号に該当する非公開情報が含まれ

ておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、会議を公開しないこととしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○尾川教育長 ご異議なしと認めます。

それでは、報告第26号につきましては、非公開といたします。

ここで定例会は休憩といたします。

休憩中の時間を使いまして、教育委員会協議会を行います。

(休 憩)

○尾川教育長 ただいまから定例会を再開いたします。

日程5、報告第26号、委任を受けて執行した事項の報告について(1)生徒指導についてを議題とします。

以降は非公開となりますので、傍聴の方は退席をお願いいたします。

(日程5は、非公開案件のため不掲載)

(ここまで不掲載)

ただいまから定例会を公開いたします。

以上、本定例会に付議された案件は全て議了しました。

これもちまして令和5年第6回枚方市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。